荒木飛呂彦

身のまわり自然観察記その③
仕事場(2階)にはいろんな生き物がいる。まず「蟻」。たまに原稿の上をはいずりまわっているので、どこから入ってくるのだろうかと調べたらコンセントの中から出てくるのを目撃。どうしようもないので撃退をあきらめた。それから「ヤモリ」。たぶん空調関係の管の中にいて、夜、誰もいなくなった後しか出てこないのでこれもほっておいてある。「スズメ」もいる。朝、来てみたら窓もドアも閉じてるのに部屋の中を時々、飛んでいる。スズメはどこから入ってきてるのか、全く謎である。

●週刊少年ジャンプ・H9年27～28号、31号～37・38号掲載分収録

LOVE
J-C

JC
ジョジョの奇妙な冒険
ヴェネツィア上陸作戦の巻
55
荒木飛呂彦
集英社

9784088721750

1929979003906

ISBN4-08-872175-6

C9979 ¥390E

定価410円
本体390円

雑誌 43069－02

JC
ジャンプ・コミックス

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険

第55巻

ヴェネツィア上陸作戦の巻

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
1900
1920
1940
1970
1990
2000
ダリオ・ブランドー
殺害
殺害
ジョージ・ジョースターI世
（英国貴族領主）
メアリー
ディオ
殺害
ジョナサン
（波紋を修業）
（考古学者）
エリナ
間接的に殺害
ジョージ・II世
（波紋力なし）
（空軍パイロット）
リサリサ
（エリザベス）
（波紋を修業）
(1889)
ジョセフ
（ニューヨークの不動産王）
（波紋を修業）
スージーQ
（イタリア人）
空条貞夫
（日本人・ミュージシャン）
ホリィ
空条 承太郎
（老後のジョセフ）
波紋の修業はないが自らのスタンドをもつ
スタンド：「星の白金」
日本人女性
(1989)
（ディオ 承太郎によって倒される。
（日本人・教師）
東方朋子
東方仗助
スタンド：『クレイジー・ダイヤモンド』
ジョルノ・ジョバァーナ
スタンド：『ゴールド・エクスペリエンス』

トリッシュ・ウナ（15歳）ボスの娘。

ブチャラティ（20歳）
スタンド:『スティッキィ・フィンガーズ』

ジョルノ・ジョバァーナ（15歳）

ミスタ（18歳）
スタンド:『セックス・ピストルズ』

フーゴ（16歳）
スタンド:『パープル・ヘイズ』

ナランチャ（17歳）
スタンド:『エアロスミス』

アバッキオ（20歳）
スタンド:『ムーディー・ブルース』

前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である…。

現代の日本――。ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響で倒れた母を救い、元凶であるディオを倒すため、承太郎たちはエジプトに向かい、死闘の末、ディオを倒した。

＊　＊　＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町では、「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていたのだ!! 東方仗助と仲間たちは、その正義の心で、邪悪なスタンド使い、殺人鬼、吉良吉影を追いつめ、これを倒した…。

＊　＊　＊

二〇〇一年のイタリア。ディオの息子、ジョルノはギャング団に入団。ブチャラティたちとともに、裏切り者集団からボスの娘を守る任につく。ボスのいるヴェネツィアを目前にした一行に新たな敵スタンドが忍び寄る…。

ジョジョの奇妙な冒険

GioGio 第55巻

ヴェネツィア上陸作戦の巻

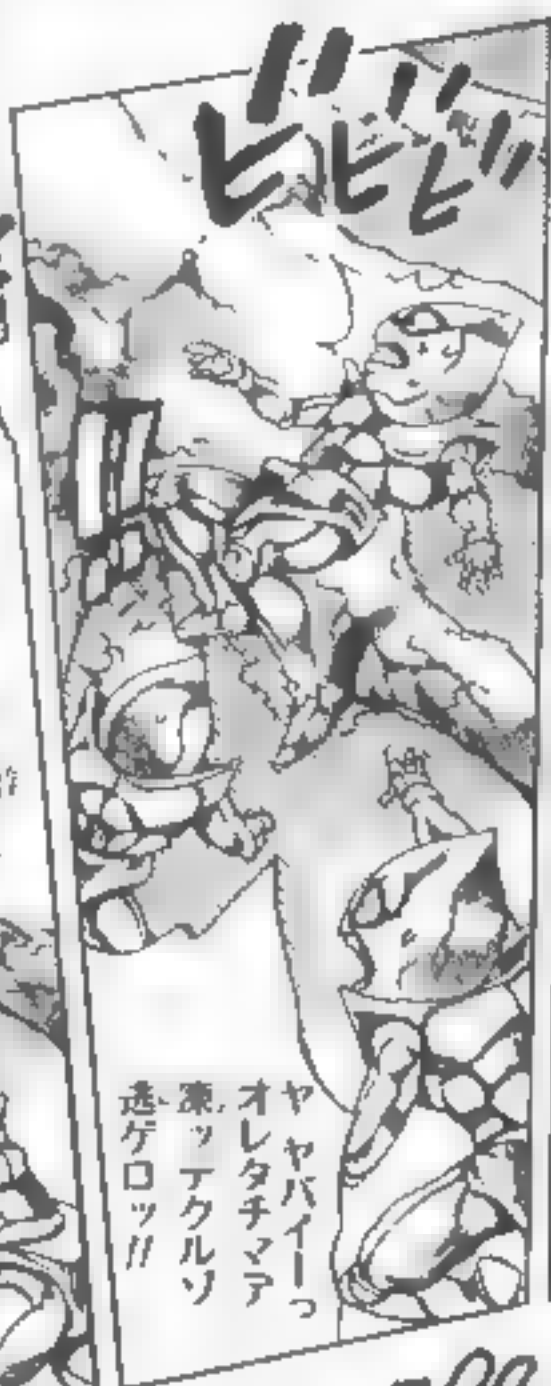
もくじ

とにかく この車に トリッシュが 乗ってねえとなると……
オレは それを 絶対に ほっとくわけには いかねえってわけだ……
トリッシュはたぶん この横のどこかに潜んでいるんだろうが 別行動という 念の入った用心深さが示すほど 重要な「何か」なんだからな……
写真の 場所を じっくりと探せば……
「何か」わからんが おまえらがこれから 駅に取りに 行こうとしている 「何か」……
見つかる かな？
ホワイト・アルバム
その①
ベコッ
ベコッ
ベコ
てめーらを 始末した 後でよ……
ジョジョの奇妙な冒険

ドドドド
ドドドド

ホワイト・アルバム
その①

…………
…………
フランスの「パリ」ってよ★……

英語では「パリスPARIS」っていうんだが
みんなはフランス語どおり「パリ」って発音して呼ぶ
でも「ヴェネツィア」はみんな「ベニス」って英語で呼ぶんだよォ～～～～～
「ベニスの商人」とか「ベニスに死す」とかよォ――
なんで「ヴェネツィアに死す」ってタイトルじゃあねえーんだよォォォォオオオオー―ッ
それって納得いくかァ～～～～～おい？
オレはぜーんぜん納得いかねえ……
なめてんのかァ――このオレをッ――ッ！
イタリア語で呼べ！イタリア語で！チクショオ――――ムカつくんだよ！コケにしやがって！
ボケがッ！

コ…木ヲ身マトッテ屋根ニヒッ付イテイルゾッ!!
ヤツノトコロマデ弾丸ガ貫通シナイッ!
ヤヤバイーっ オレタチマデ凍ッテクルゾ 逃ゲロッ!!
ウワアアアーーッ
タ…助ケテクレッ!
ウワッ!
ナ…NO2!!
行クナァーーッ!
ウワアアアアア
「NO2」「NO3」ーーッ!
!!

ミスタァ——ッ
なにイ〜〜〜〜イ!!
ま…まつ毛が…目ばたきしただけで
ひっ つくっ!

うぐぐ やつの能力これを計算して屋根に登ったのかッ！
この車は今、時速60キロで走っている
……という事は風速20メートルの風の中にいるのと同じ事 体感温度は風速1メートルにつき1℃は冷えるそうですから
今の弾丸の穴で一瞬のうちにぼくらはマイナス20℃冷えたって事ですッ！
じゃあ 止めろよッ！ いつまでも車を走らせてんじゃあねえッ！
ええ
すでに努力しています
しかし

ブレーキペダルが
凍ってきがらないんですッ！
ハンドルも
動かなくなって
来ているッ！
エンジンは
燃焼してるから
止まらないようですが
…………
ゆ…
指から
吹き出ていた
"血液までも！
凍ったぞ！
!!

車体の表面は
窓に触れた指が
凍ったことから
マイナス　℃は
まちがいなく
いってるッ！
しかも
あまりにも
早くッ！これが
敵の能力ッ！
スゥーー
ハァーー
うおおっ！
呼吸の湿気で
鼻の穴がぴったり
くっついて！

ゆ……
指まで……
は…鼻に！
ウッ！
や…やばいイッ！
湿気で唇までが……!!
寒いとか言うよりも
このままだと
こ……
呼吸ができなく
なっちまうウウッ！

と…止めろッ！ジョルノ
とにかく！車を止めろッ！
車をカエルにするとかあるだろオーッ
とにかく止めろッ！
それもすでに努力しました
しかし…
マイナス一〇〇℃の中で生まれる「生物」はいません
ぼくの「ゴールド・E」は温度が必要です

そして残念ながらぼくが役に立てるのは
「弾丸」を拾うことくらい
……です
そしてしかも「グイード・ミスタ」の拳銃〃
これ以上オレに向かってブッ放すことももうできない！
うほっ〃
ついに運転が難儀になってきたようだな
これ以上車体に穴をあけることはもっと自分を危険にさらすことが十分わかったがろうからな

ああ？
たしかに……
車を止めろというオレの望みはかなえられねーが……
ブッ放せば「弾丸」はあったまってるよな……
ジョルノに拾ってもらった弾丸をブッ放せばよォ
「温度」はある！
そしてとりあえずジョルノのかわりにオレが叫ばせてもらうぜ…

『ゴールド・E』！

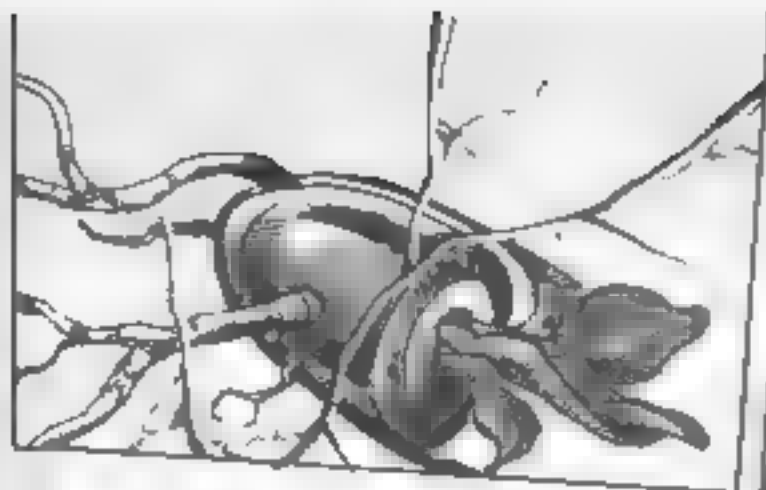
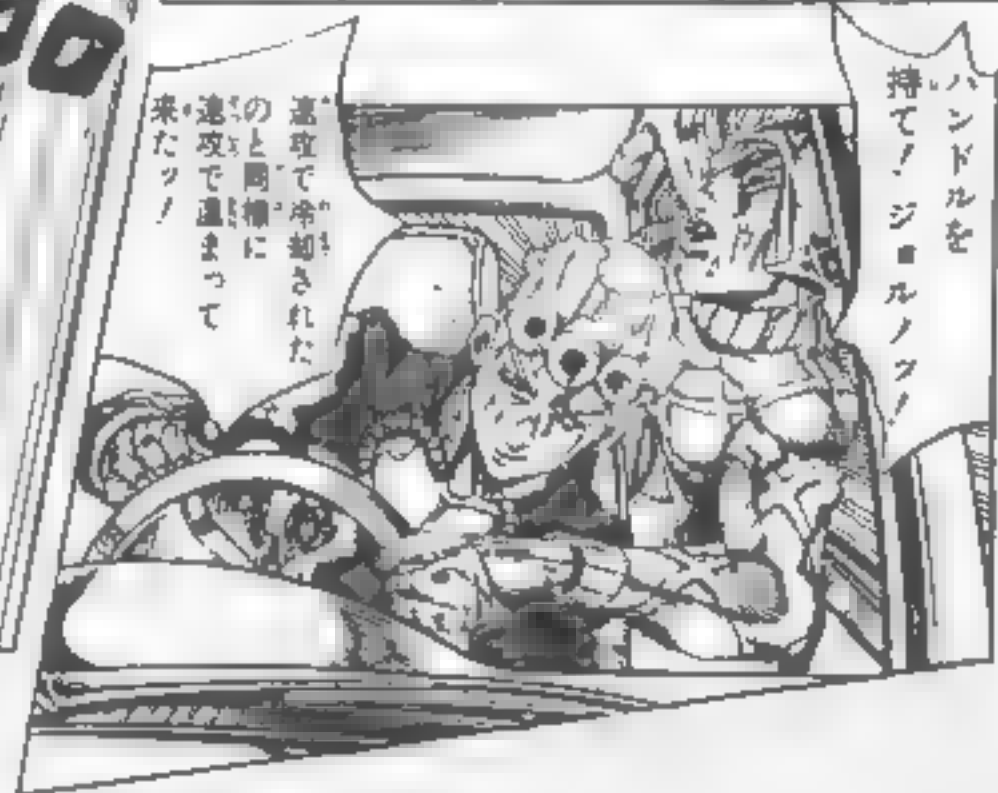
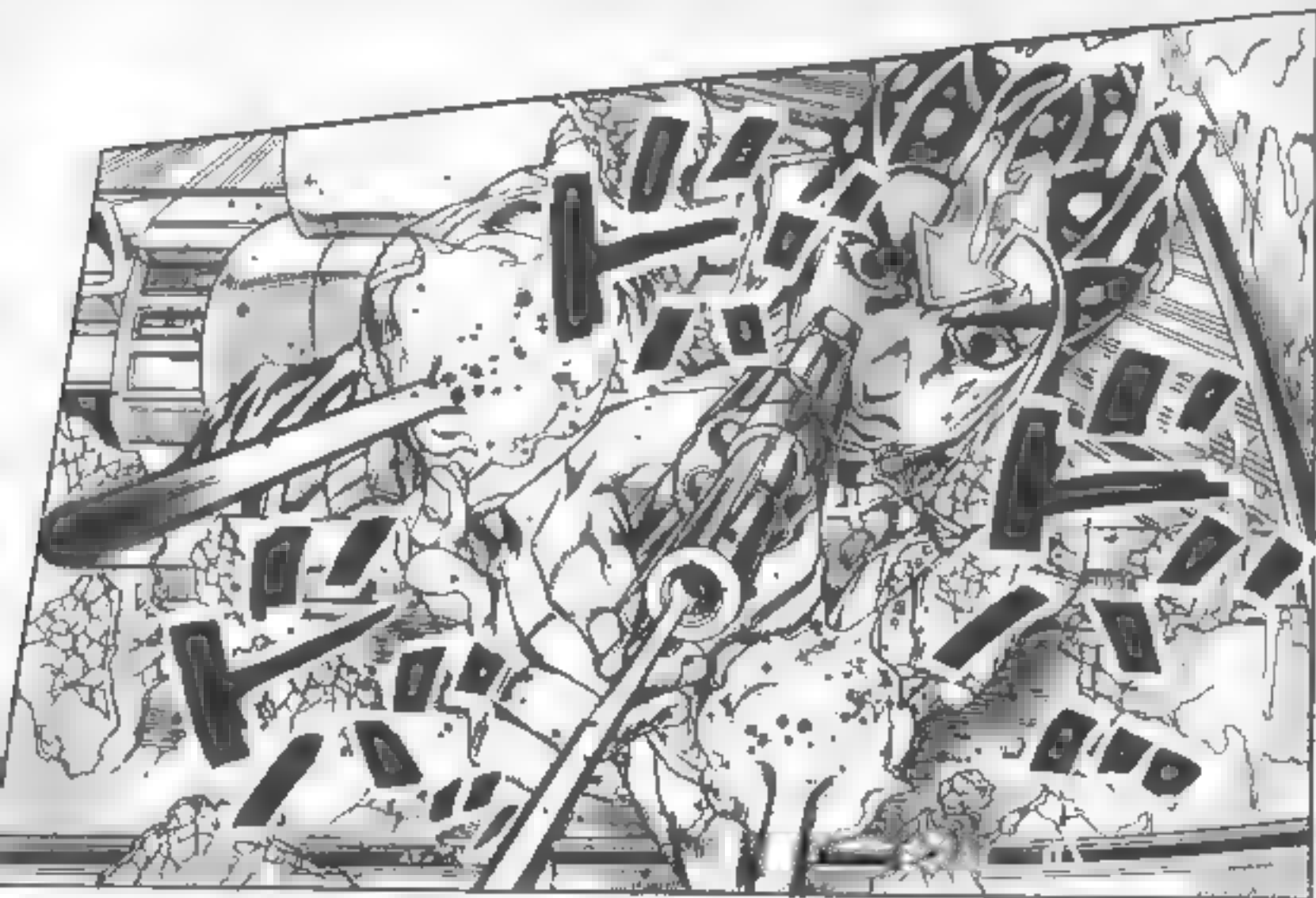
パキッ

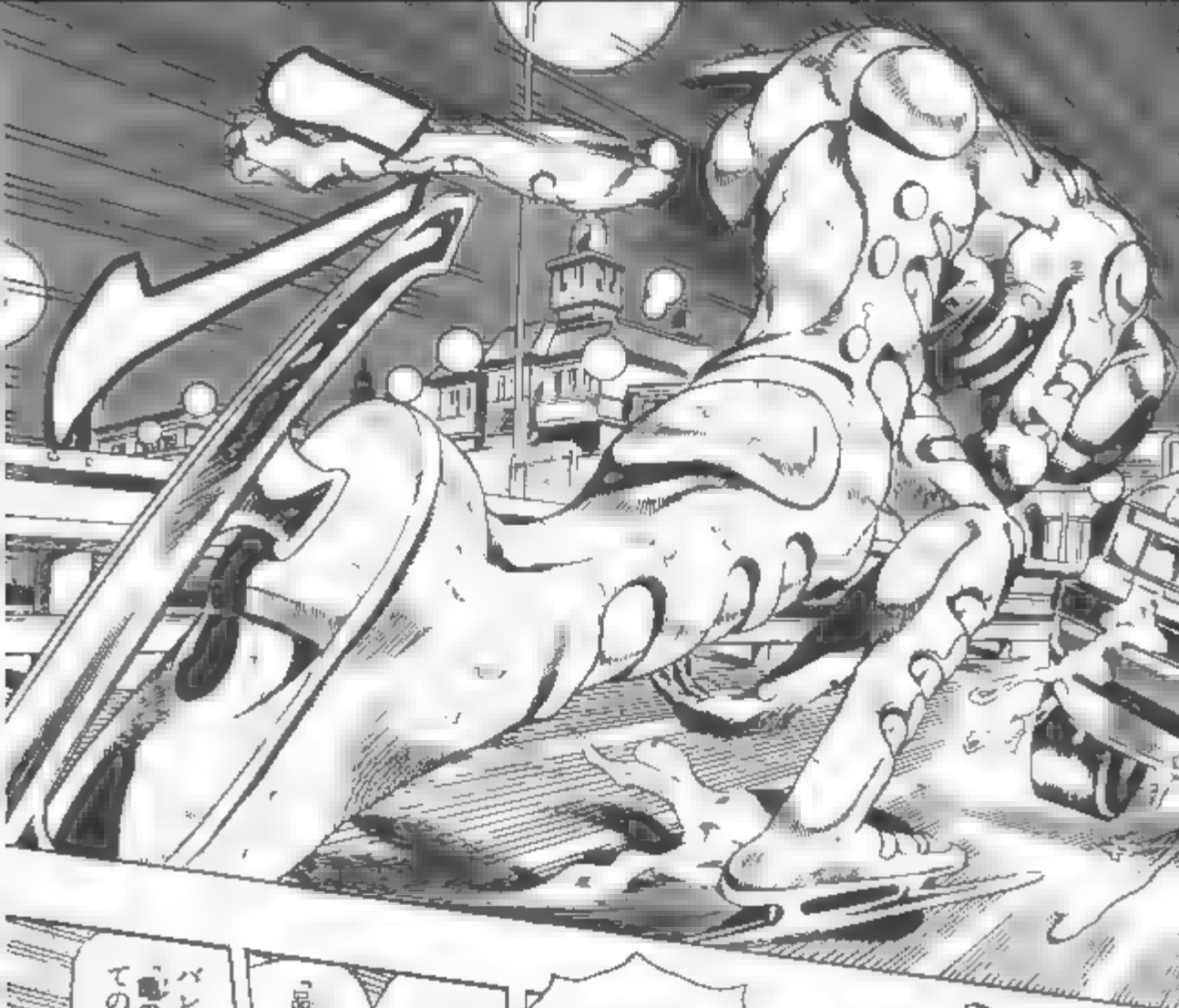
ああ？

!?

おあ
あああ

ドッゴォォーン
ガオン
ゴロ
ゴロ
やった…突き落としたぞ
植物の根ってよお――アスファルト道路を持ちあげ岩をもくだく生命力があるからな！
ハンドルを持て！ジョルノッ！
高速で冷却されたのと同様に速攻で温まって来たッ！

…………
ヤローー ああやって この車に 乗りうつって 来たのか……
しかも「スタンドを身にまとう」 おい あんなタイプのスタンドは 初めてだな

チェッ
あれがメローネから報告の入った「新入りのスタンド使い」ジョルノ・ジョバァーナの能力か…
『追ってくるぞッ』！
しかし逃がさねえ……
駅前にある『品物』はこのギアッチョが必ず手に入れる……
本体名 ギアッチョ
スタンド名 ホワイト・アルバム

ホワイト・アルバム
その②

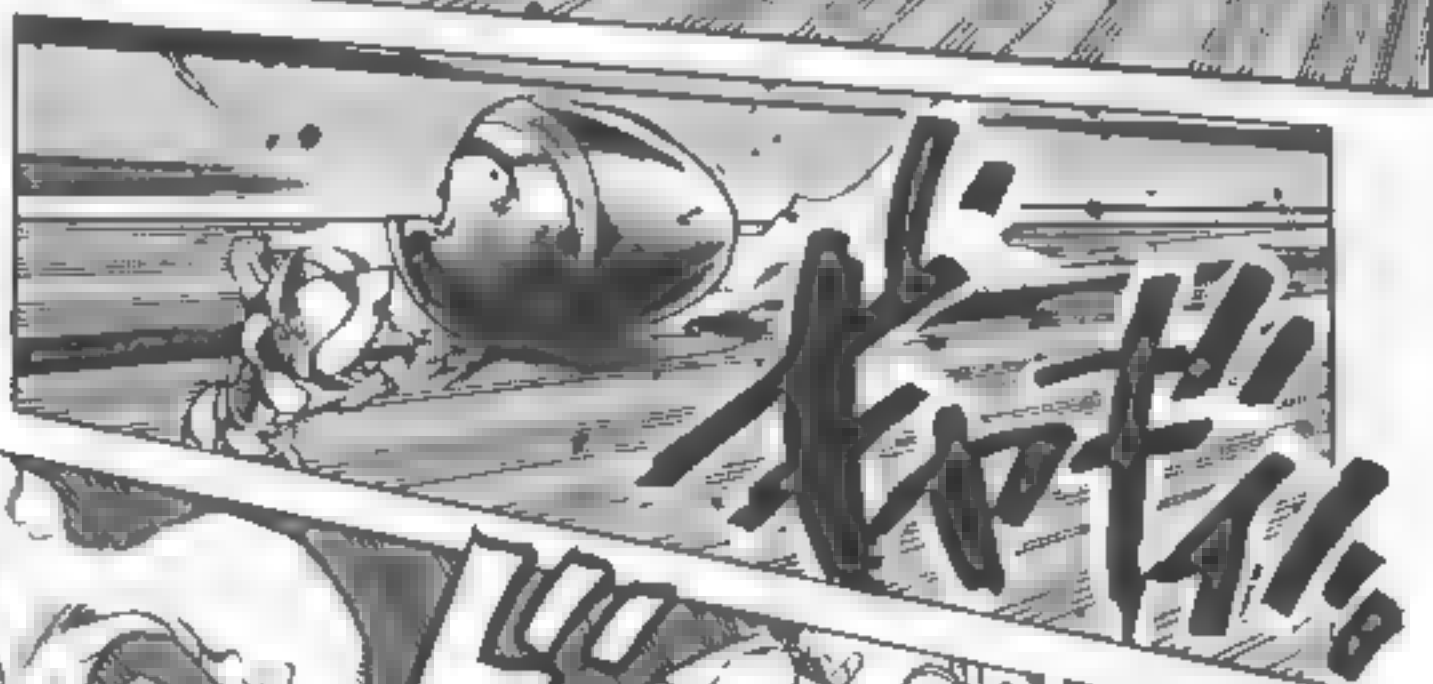
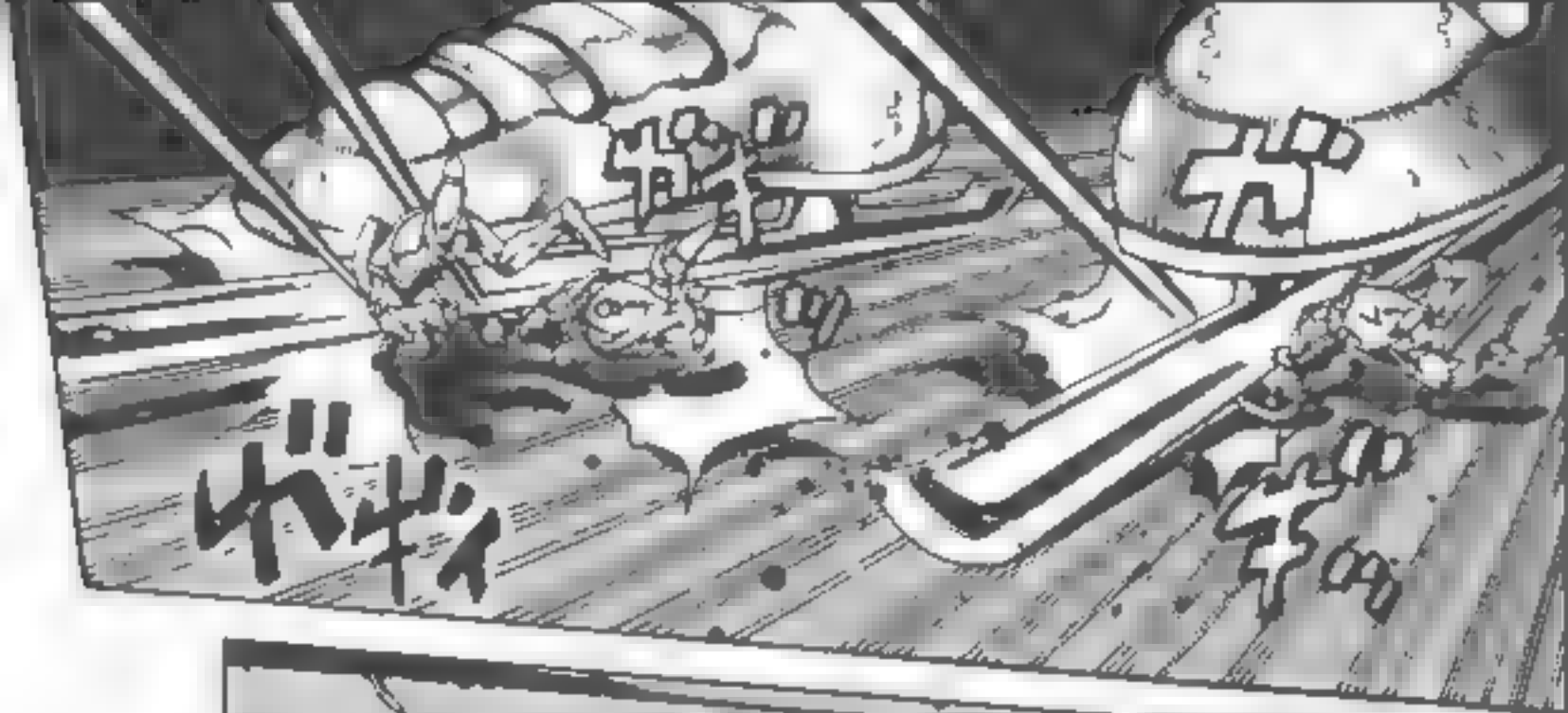
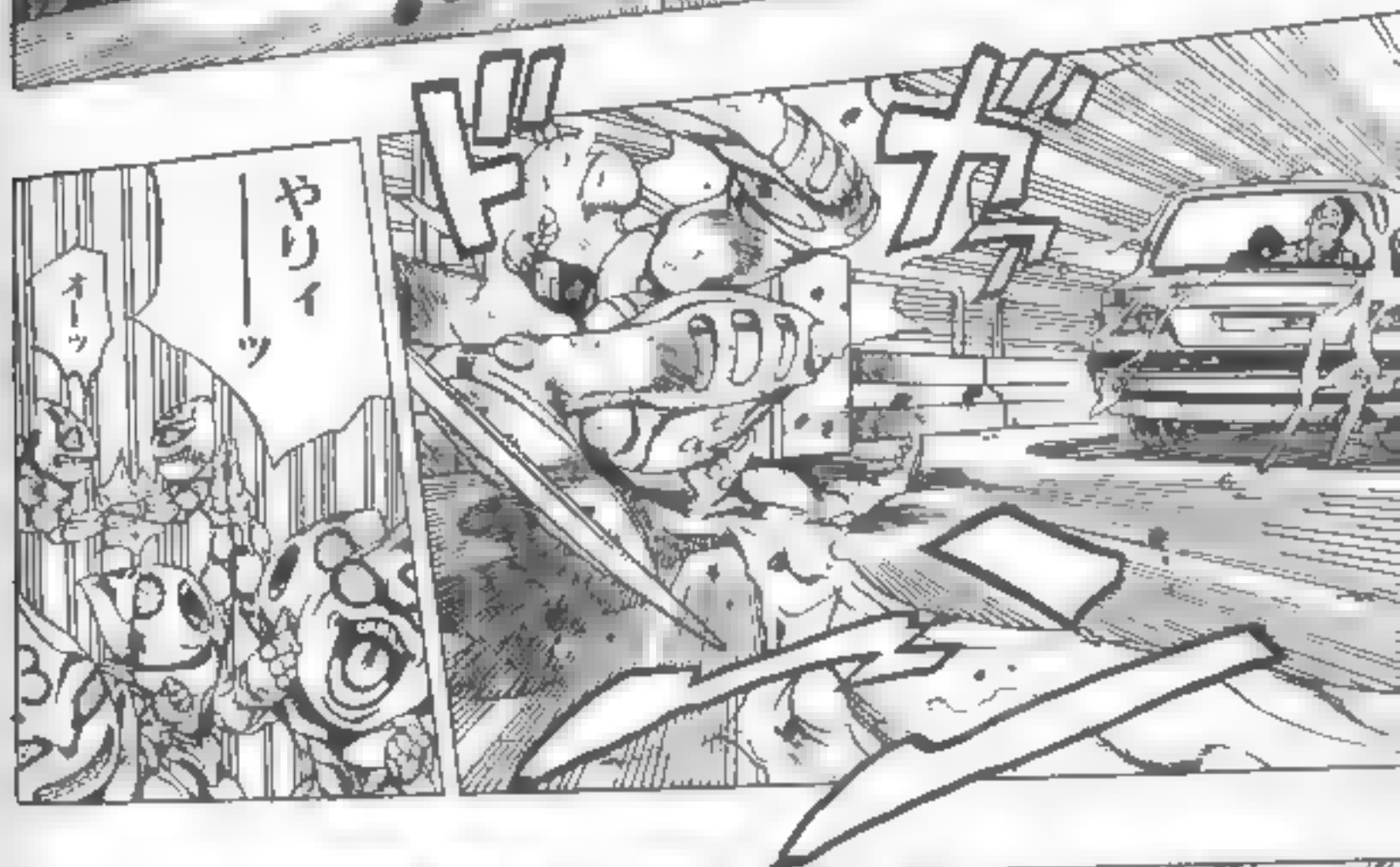
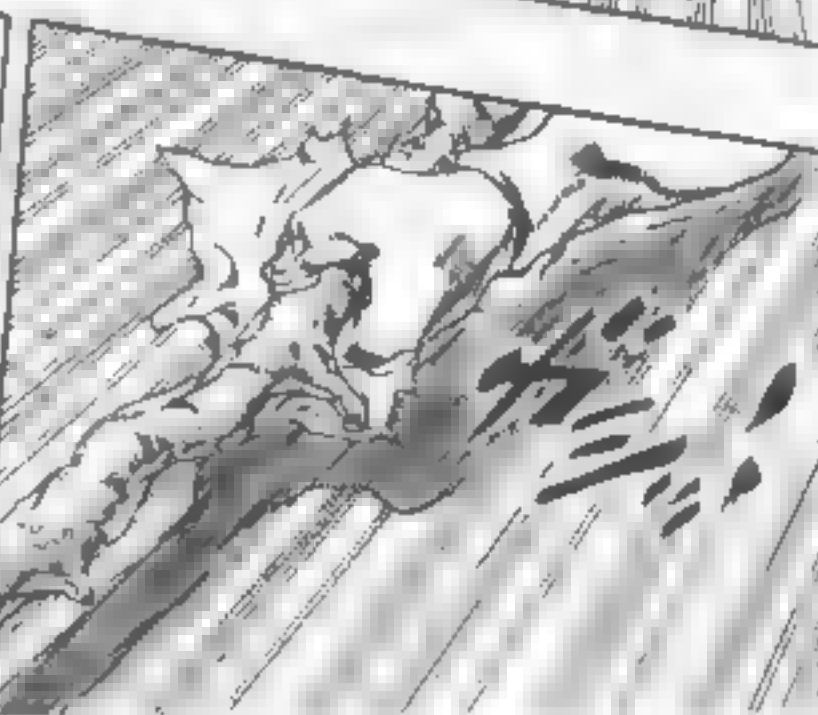
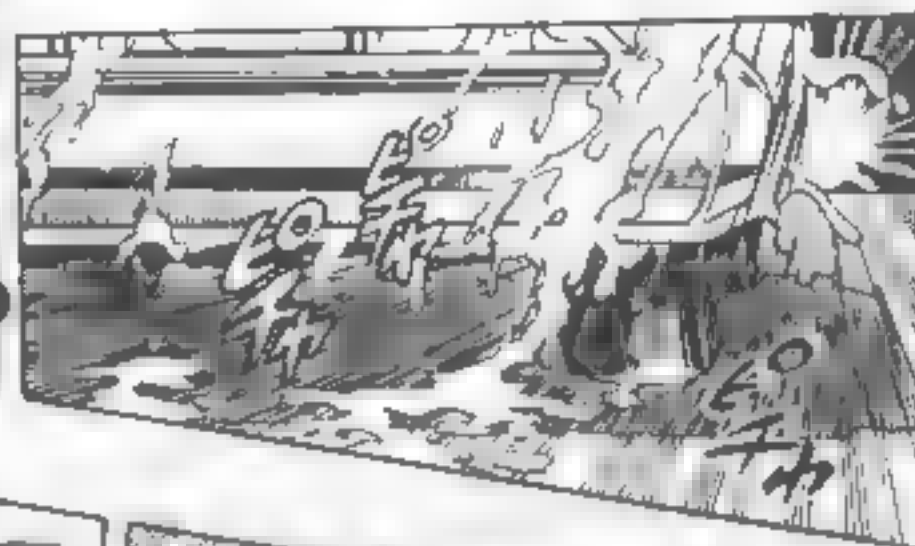
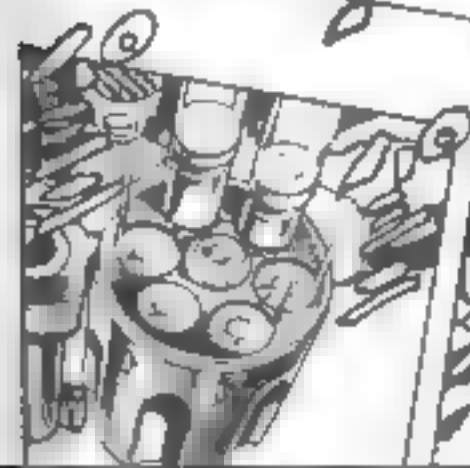
50
VENEZIA
弾丸の無駄だな
オレの能力「ホワイト・アルバム」は極低温で空気中の水分を凝結させて装甲のように身にまとっている
それでスベる事もできる、弾丸ごときが撃ちぬく事はできねーほど強力なパワーで固定もしているッ！
どんどん加速してくるぞ！

ジョルノ もっと車を飛ばせ！
これ以上は限界ですッ！
車体の冷えは解けているとはいえ
まだ残っていてタイヤがスリップしているッ！
しかも「駅」のことがバレてしまっているとは…!!
ぼくたちが駅に「品物」を取りに行くって事が
バレたのが彼女のいる「亀の方」じゃあねえってのは…
考え方によっちゃあこの状況の良い面だぜ！

追いつかれなきゃあな
何やってんだジョルノ!
もっと飛ばせッ!
ですから
無理です!
しかもスベったら
逆にスピードが
落ちる事になる
いいから
出せっつったら
スピードを出せッ!
おまえらは
この先の
S・ルチア駅に
到着する事は
決してありえねーッ

てめーの弾丸ごときでは撃ち抜けねエーッて言ってるだろーがよォー
NO2もNO3も戻れ!

ハアーーッ
イイイー
!ホッ
!ハイ

・・・キスでも
してんだな・・・・・・
スピードがついてる分だけ
「道路さん」に
熱烈なヤツをよォ——ッ
うおあ!

メシャ
ドガ
やりィ――ッ
オーッ
よし
突き放したぞ…
このまま街へ
入れッ!
道路は1キロあまりで
行き止まりになり
その先が駅だ!

ヤツに追いつかれる前に
急いで「例の品物」をゲットして
そして身を隠すッ！
いいなッ！
ジョル…
…………
ピチャ

こ…こいつ！
車体から解け落ちる水滴を…「ガソリンに燃えうつる炎」のように凍らせてロープのよう…
一体どんな温度で冷やせばこういう事ができるんだ…
野郎ッ

もう一度くらいやがれッ!
ガパア
しまったッ! トランクを開けやがったッ!
ト…トランクを開けたって事は…

やっ！やばいッ！ジョルノ
中に入られたぞッ！追いつかれたッ！
止めろッ！ジョルノ
今度は早く車を止めるんだッ！
またブレーキペダルが凍って役に立たなくなるぞッ！

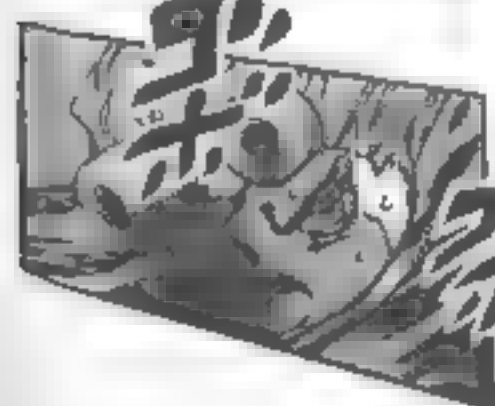
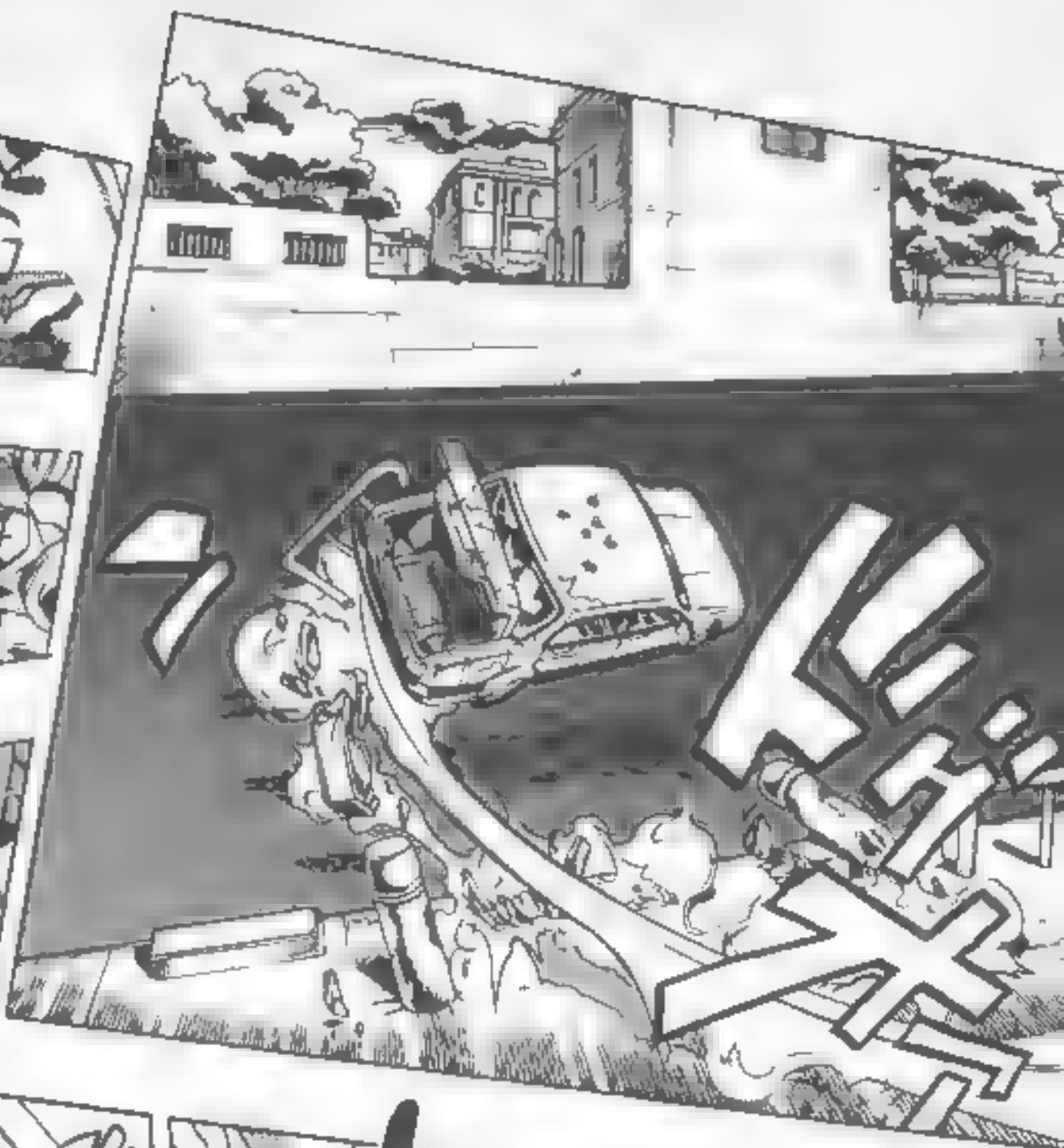
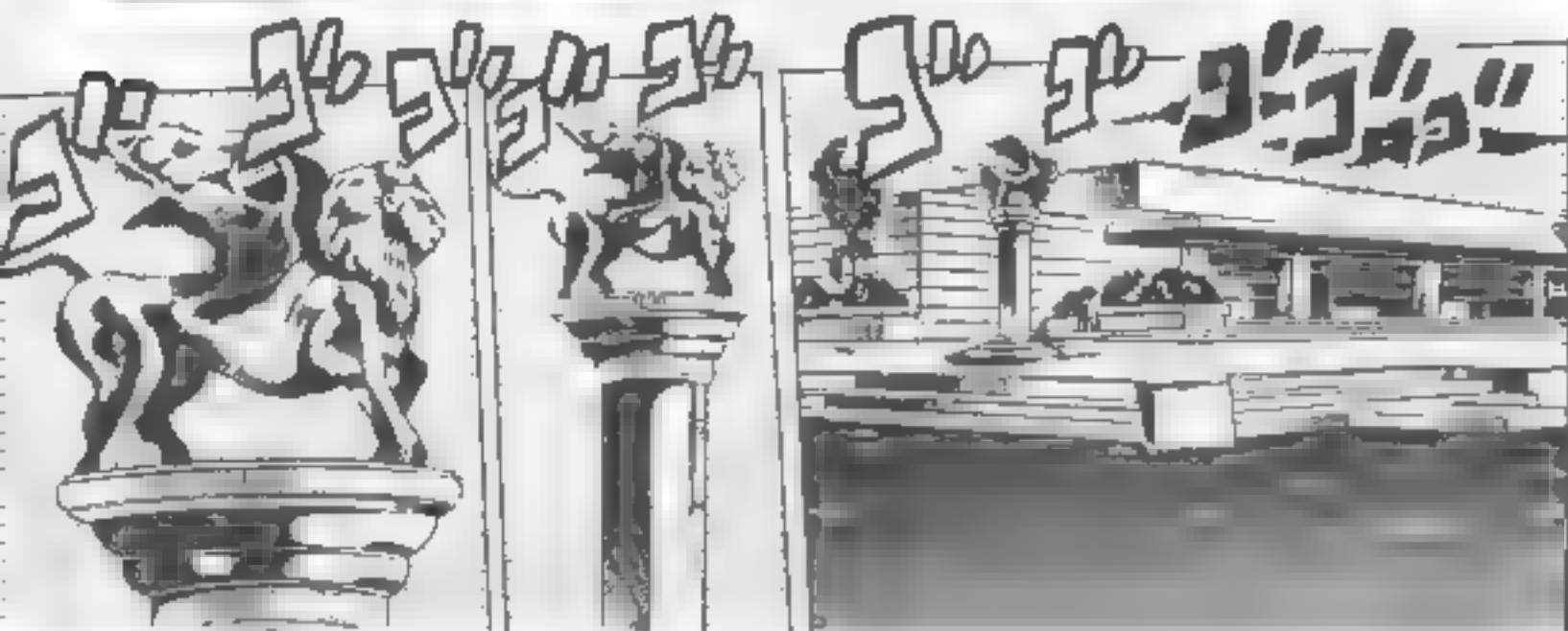
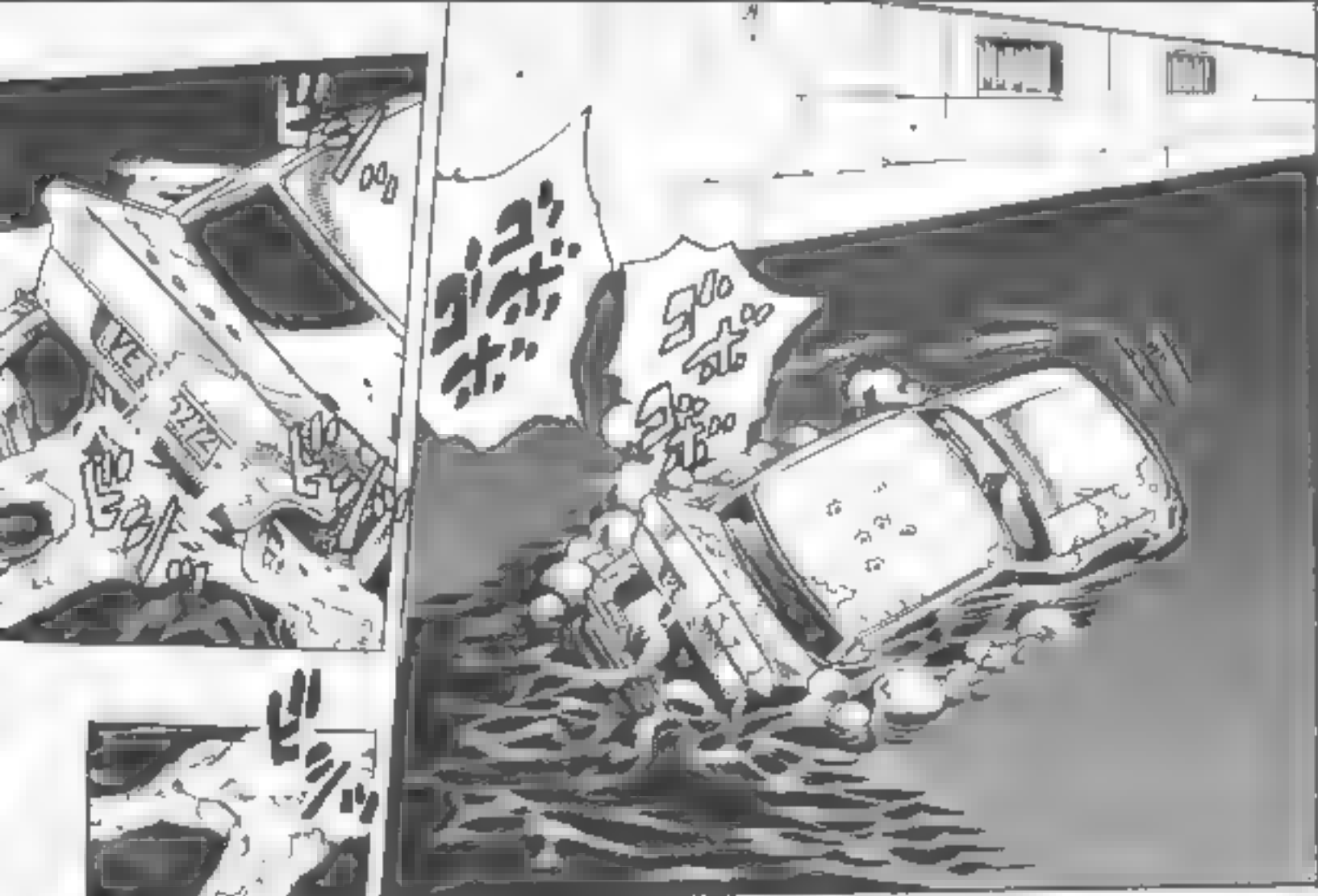
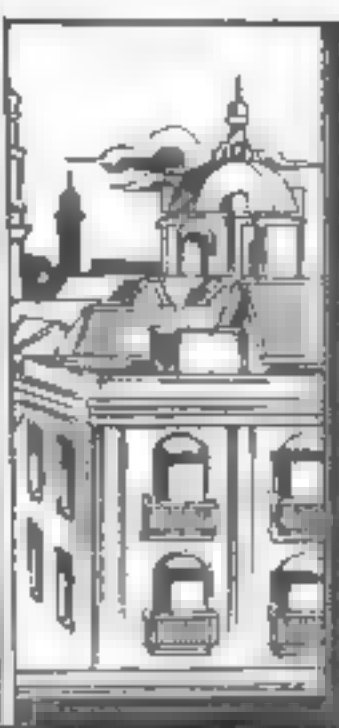
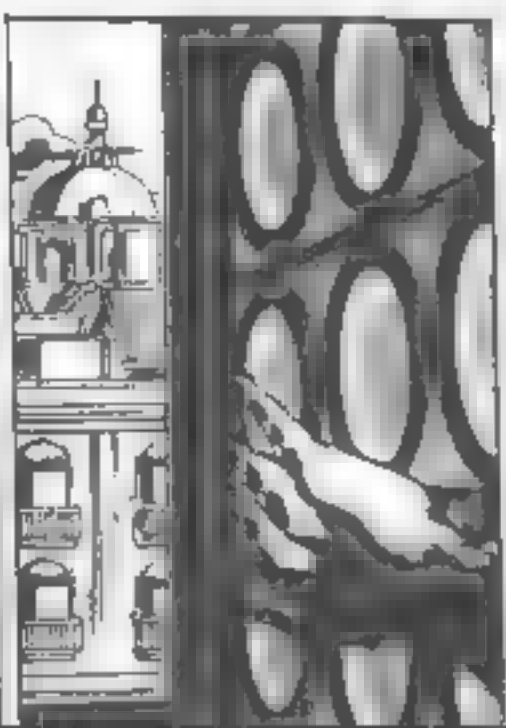
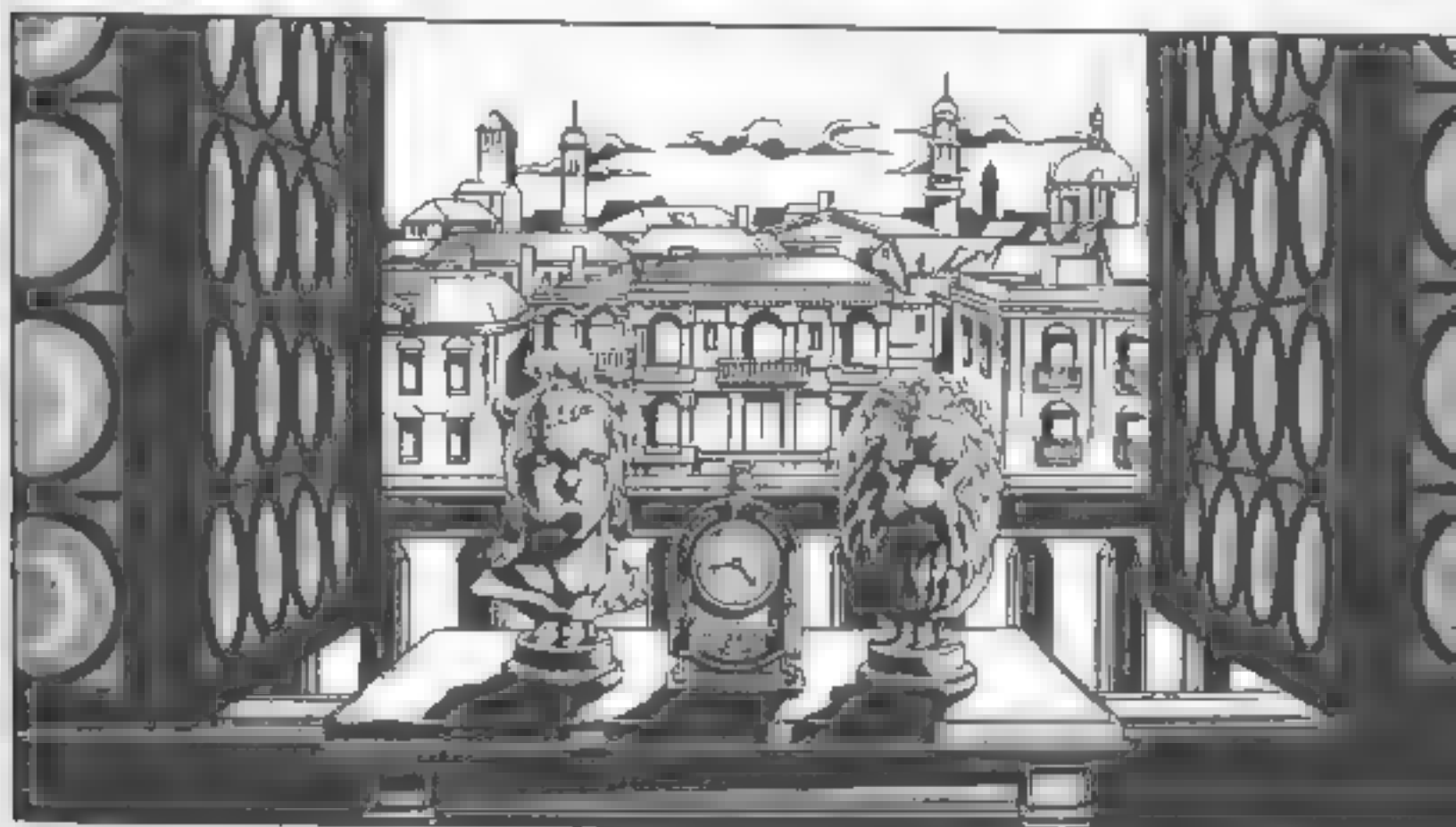
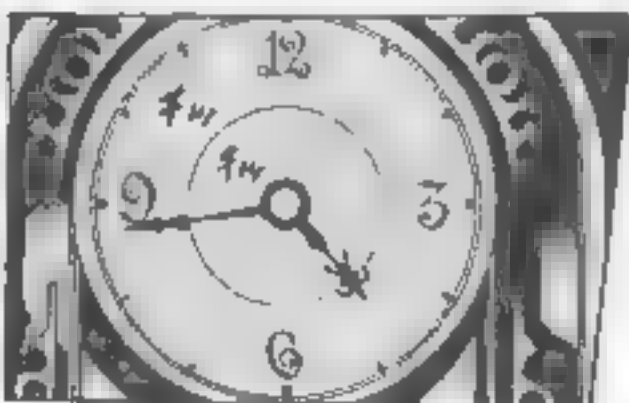
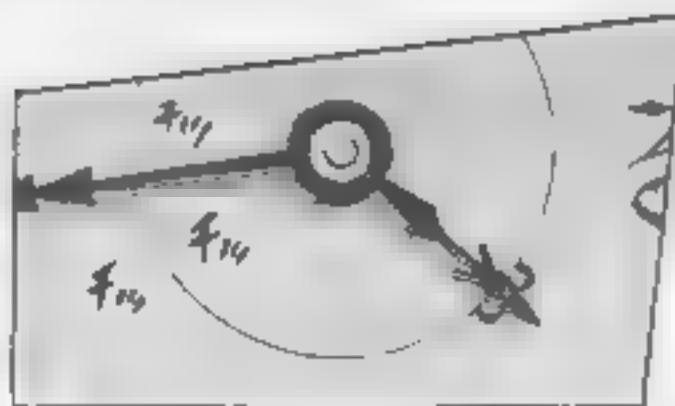
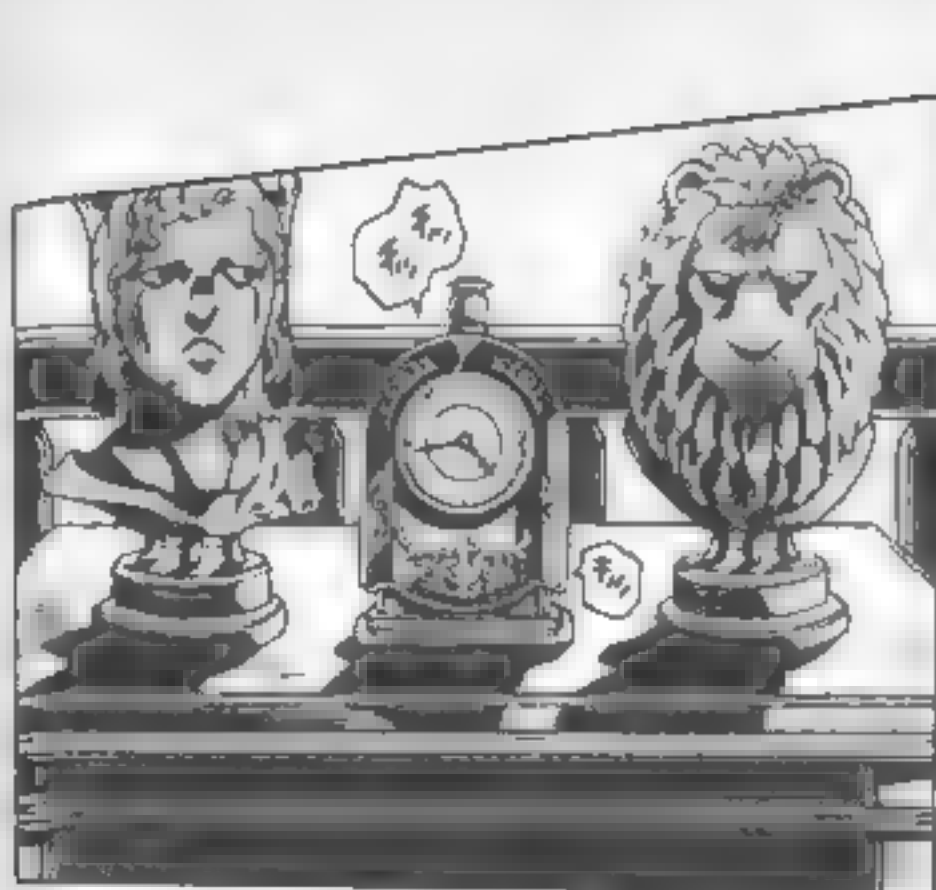
ビシ ビシ
……
その必要はねえな！ 拳銃使いのミスタ！ 直に冷やすんだからな トリッシュがいなけりゃあ 最初っから こうするつもりだったよ
ビシ ビシ
ブチ…
…われな…
うおおおおお
おおおおおお

WREEE
AHHッ!

ビシッ
ジョ…ジョルノ！
ビシ
ビシッ
ヒビが入るだけで
こいつ無敵か…
どうすればこの装甲を破壊できるのか……？
ジョルノそいつから離れろーーッ！
ミスタ脱出してくださいヴェネツィアに着きました！運河に突っ込みます

ミスッ
脱出
ビシッ！ビシッ！
ビシ！
ビシッ
ビシッ!!
うおお
あう

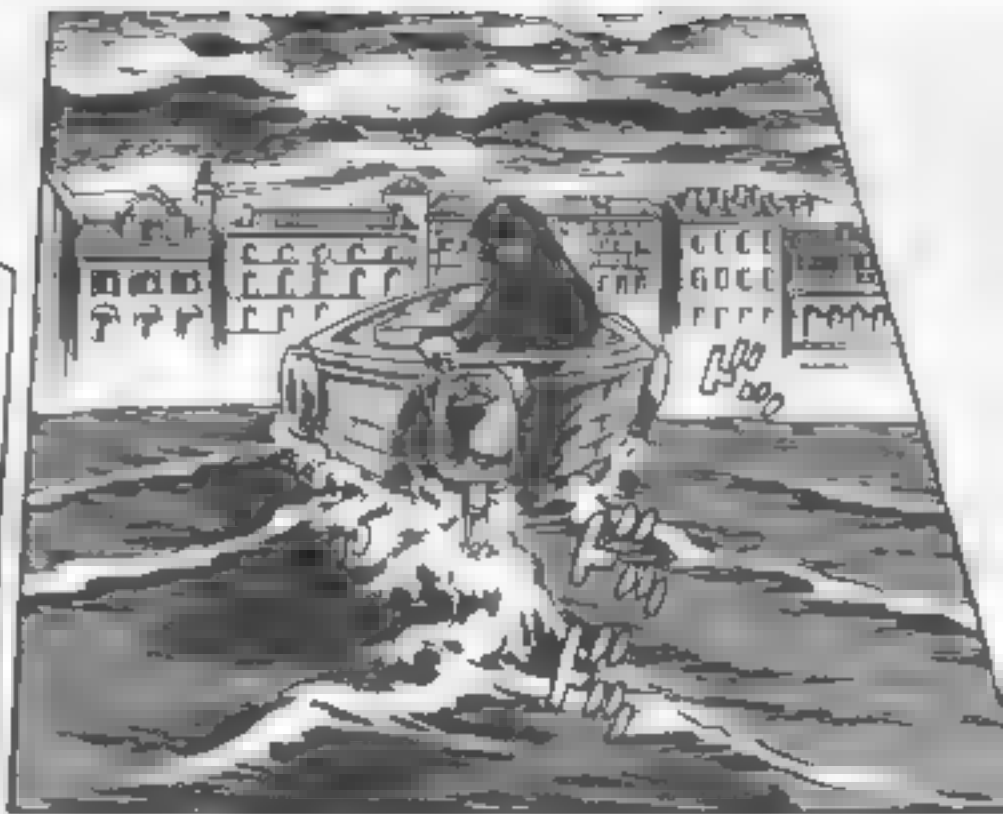
ゴゴゴゴ

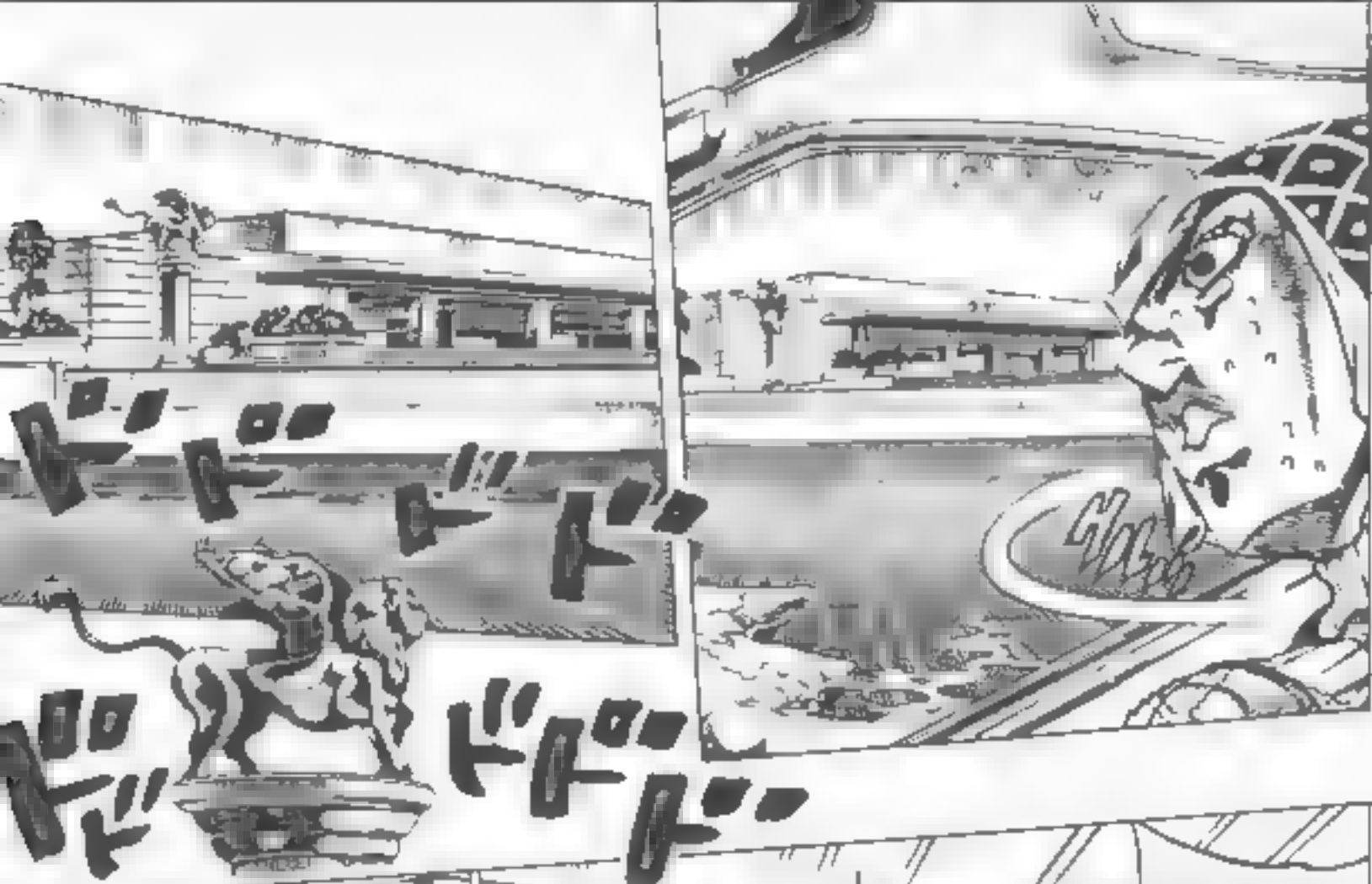
チッ
チッ
チッ
チッ
チッ
チッ
チッ
チッ
もしも無事なら……

そろそろ……到着する頃か
「DISC」を……
……
この「ヴェネツィア」に……
手に入れろ……
手に入れなければ……私に会う事はかなりむずかしくなる……肝心な事は最後にあるものだ……
我が娘「トリッシュ」よ

ホワイト・アルバム
その③

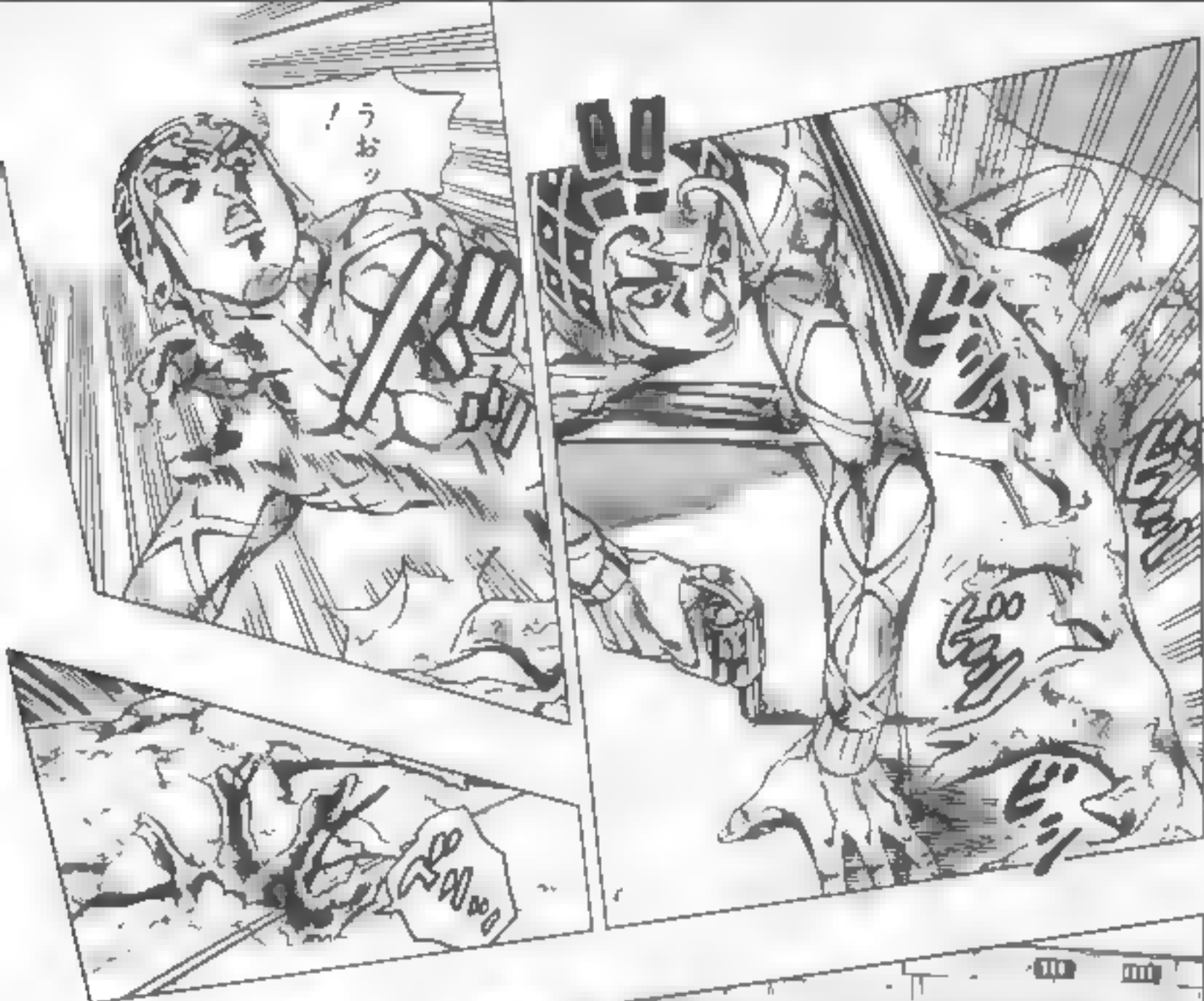
東の空がかなり白んで来たなあぁ
ヴェネツィアの空は
「晴れ」だな…今日はよオオオオオオオオ
おまえの「レーダー」に生物の反応や他の船影が見えないのなら
ナランチャ

街の外壁にそって駅の方へ向かうんだ
ミスタとジョルノがそろそろ橋を渡ってサンタ・ルチア駅前に着いている頃だ
そして順調にいってるのなら……!!
……
すでに「ライオン像」に隠されている『DISC』をゲットしてな……!!

ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ

ミスタ
急いで車から
脱出して
くださいッ！
ドド

うう！
ジョルノッ！
お…おまえッ！す…すでに体が……ッ!!
理解してると思いますがミスタ・ぼくらの最優先は「例のもの」をゲットする事であり
「あれ」を手に入れる事がぼくらの勝利でありヤツの「敗北」です
ここはぼくの事はいい！早く岸に向かってくださいッ！このままでは2人とも車に閉じ込められてしまうッ！

ドドドドドドドド
周りが大量の水だと車が直接凍るのは遅いッ！ そのために運河に飛び込んだんだッ！
早く脱出してくださいッ！
わかってるぜジョルノ…!!
だが「勝利」ってとこが気に入らねえッ！
ヤツをブッ殺してオレもおめーも無事であれを手に入れる事それが勝利だ！ いいなッ！ ジョルノ

…逃がすわけねえーだろォーー
シャアアーー

うおッ!
飛び込んでみなよ――ミスタア!!
運河を泳いで逃げてみなよォ~~~ッ
うぐっ!!
うッ!
おめーの泳ぎか早いか…オレの氷か早いか 賭けてみるのも悪くね――ッ

こ こんな大量の水なのに一瞬のうちに氷を絨毯を敷くように走らせて…
ミスタが運河に飛び込んだら終わりだ…
ま…まずい！車を運河に入れたのは逆にまずかった しまった！こいつ…氷に関しては弱点がな…ないッ！
………
車体を植物に変えてのばせ！ジョルノ！
ここの上はまだ完全に冷えてねえだろッ!!
生命を産み出せるうちに早く「植物」に変えて成長させろッ！
ツタをのばしてロープがわりにする気かよ〜〜〜

ズギュウウ
ウウウ
そうはさせるかァ
ホワイト・アルバムッ!
ドドドド
ガア

ダメだッ!
思ったとおり ダメだ… 岸まで「ツタ」のような生長力の早い植物をのばすには適温が必要だッ!
凍ってないとはいえ すでに車体は低温すぎるッ! ツンドラの地面のように短い草しか育たないッ!
……やはり!
ミスタ… すまない…
水に飛び込んだぼくの判断が間違ってた!
誰が「ツタ」を岸までのばせって言ったよジョルノ
・・これで・いい・ん・だよ
「短い草」がいいんだよ!
寒い地面にはえる「短い草」がいいんだよ!

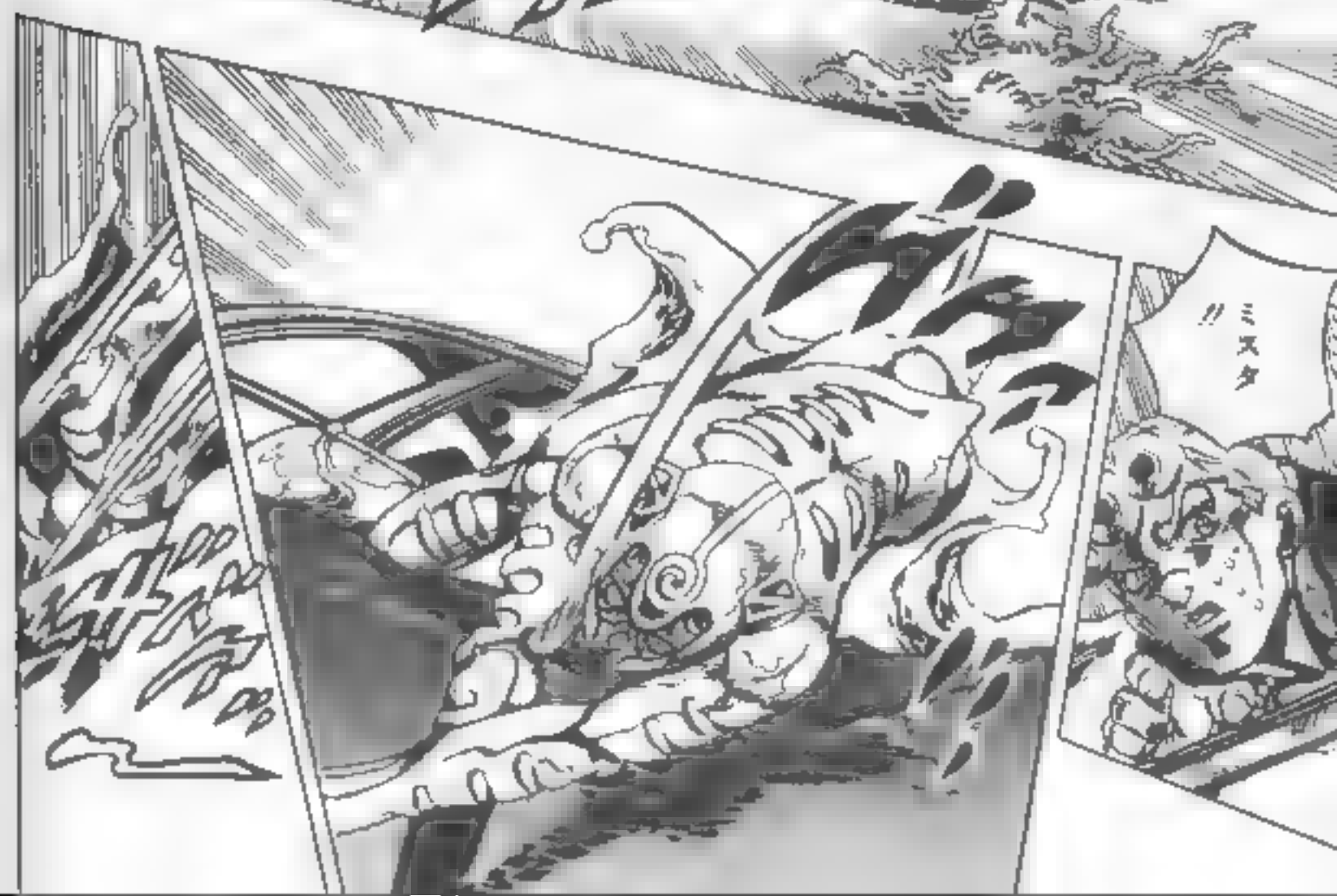
もっとはやすんだッ！
もっとだ！もっとッ！
死にたくなけりゃあもっとたくさんだッ！
はやさないと死ぬぜェジョルノォォォォォォ———ッ!!
だがもっとだジョルノ
もっとッ！
早くだ———ッ！
ドシュ
ガ
ゴ

とらえたッ！
岸まで生長しなくて
残念だったなーーッ
バリバリバリ
そして車は
完全に冷えきった
ぜーーッ
ドバッ
ガバァ
よくやった
ジョルノ！
漕って
来たぜ！
これで
「おめー」は助かった
ズズズズ

み…短い
草を集めて……
凍らせて
や…野郎…
「そり」を

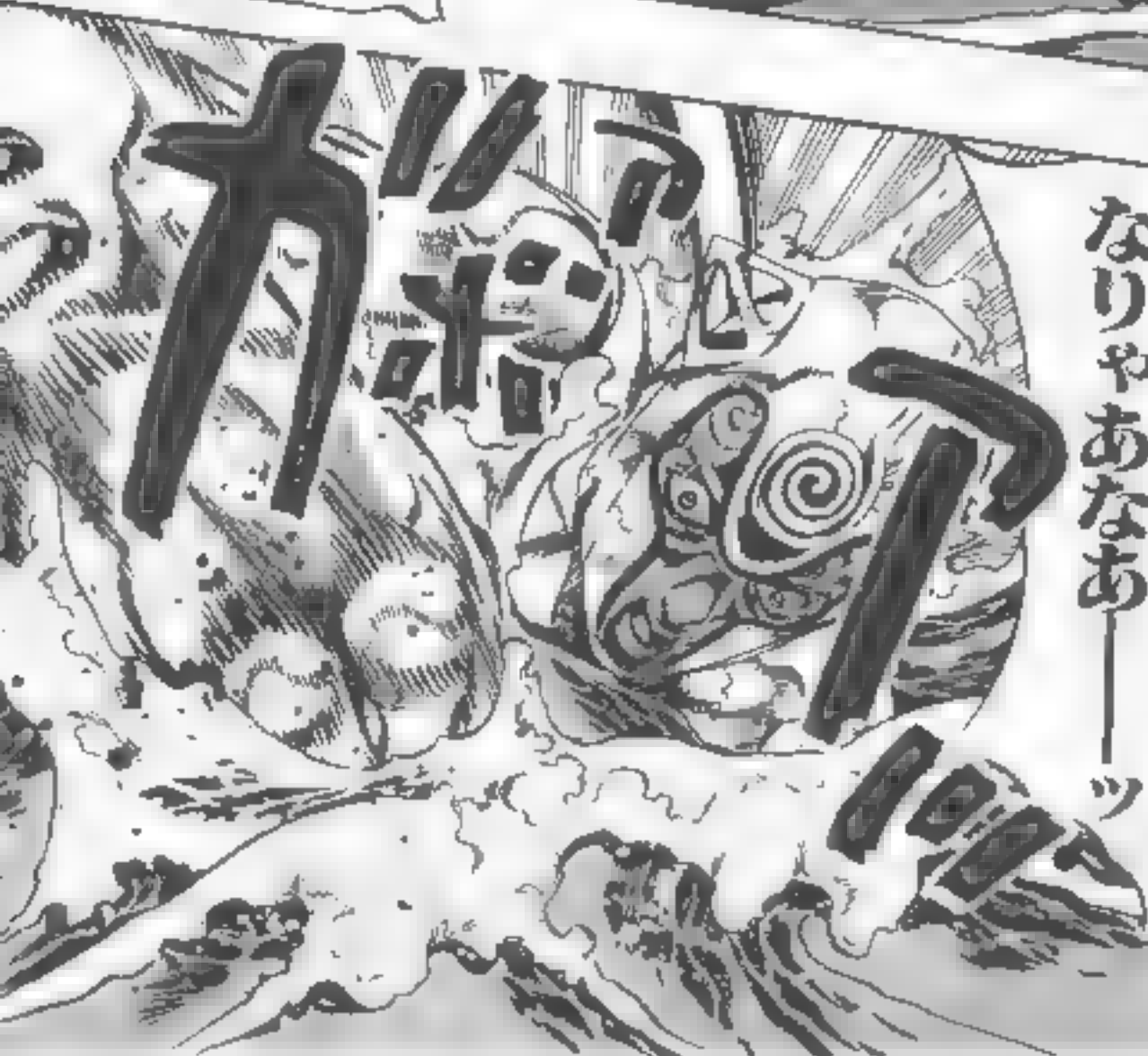
い…いや 野郎
オレの冷却を利用して
「ボード」を作りやがったッ！
し…しまった
チクショオオオッ！
そしてこのままだと
駅前に先に
行かれちまうッ！

やっぱオレを このまま オメオメと逃がす
逃がすわけは
『ホワイト・アルバム』！一時冷却を解除しろッ！
!!
こ…氷が

ドン
溶けた！
ミスタ!!

ミスタ！
水面を走らせる氷で攻撃されるッ！早く泳いでッ！岸まで早く！
早く泳ぐんだ──ッ
追いつめられてるのはかわりねーが
あった！やはり飛び込んだカイがあった
見つけたぜ……こいつの「弱点」を…！
仕止める方法かッ！！

「氷」を溶かされて
運河に落とされるのを
承知で…あえてッ！
ミスタ……
ぼくは おかげで
氷から脱出
できたが…
しかし 運河に飛び込んで
この後どうする!?
ミスタ・こいつから逃れる
考えがあるというのか？
ホワイト・アルバム
その④

オオオオォ
ホワイト・アルバム
その④
攻撃されるぞ
ミスタ！
泳いで早くッ！
早く岸まで

超低温は「静止の世界」だ……
低温世界で動ける物質はなにもなくなる全てを止められる！
オレの「ホワイト・アルバム」が究極なのはそこなのだ！爆走する機関車だろうと止められる！荒巻く海だろうと止められる！
泳ぐんだアアーーッ
その気になりゃあなあーーッ

早く岸にはい上がるんだミスターーーッ
だっ
ガリアアアアーーッ
だめだッ！壁が高すぎる間に合わねえッ！
ここでこいつを攻撃するッ！

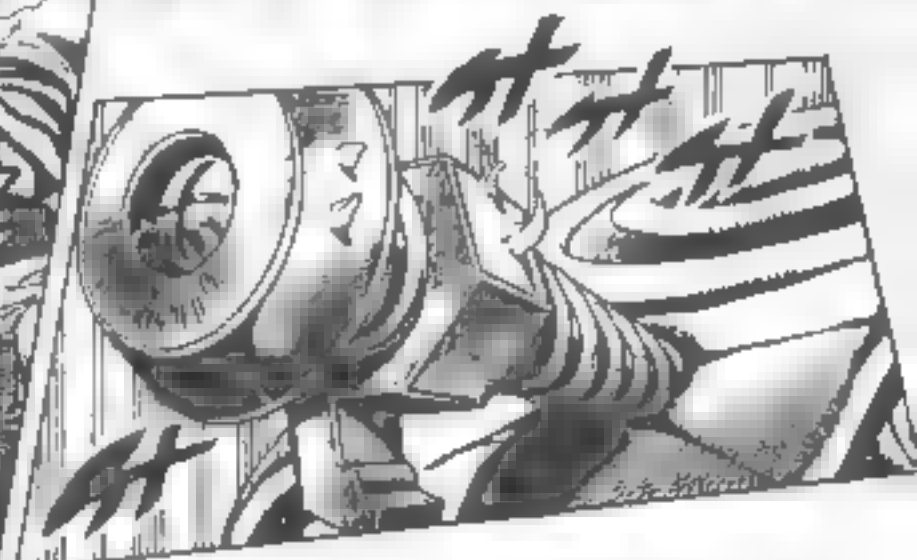
能力が完璧だと？
いや…完璧なわけはねえ！
もし"氷"で完璧に包んでいる防御なら
「呼吸」はどうしてるんだ？
「呼吸」はどこからか絶対にしているはずだ…
「空気」をとり入れる穴が絶対あるはずだ！
おれはやつの
「呼吸の穴」を
探すためもあって
運河に飛び込んだんだ
弱点が
あるのなら
それは
その穴
だッ！

まだ理解しねーのかッ！
どんな攻撃だろーと『超低温』は触れればストップできるッ！
なんのつもりだ？…え？

うう うお
ち…
違うのか…ッ
うおおおおおおおおおおお
いいや
あるはずだ！
「空気穴」は絶対ある
どこだッ くそッ
ブチ入れてやる…
ミスタ！
水に浮いてる
「草」を！
集めるんだ!!

くっ くそっ！
てめ――
ブチ込んで
やるゥ――ッ!!
『ボード』にして乗って来た
「草」を集めろと
言っているんですッ
ミスタ！
!?
右手の「銃」が
撃てるうちに
ッ！

攻撃はなんだろうと無駄だっていうのが まだわからないのかッ！
くどいぜ！ーーーッ!! ミスタッ！

なるほど……

車に生命を与えて創ったのだからな……
てめーにブチ込めるようになあああああああ
なにイ―――ッ!!

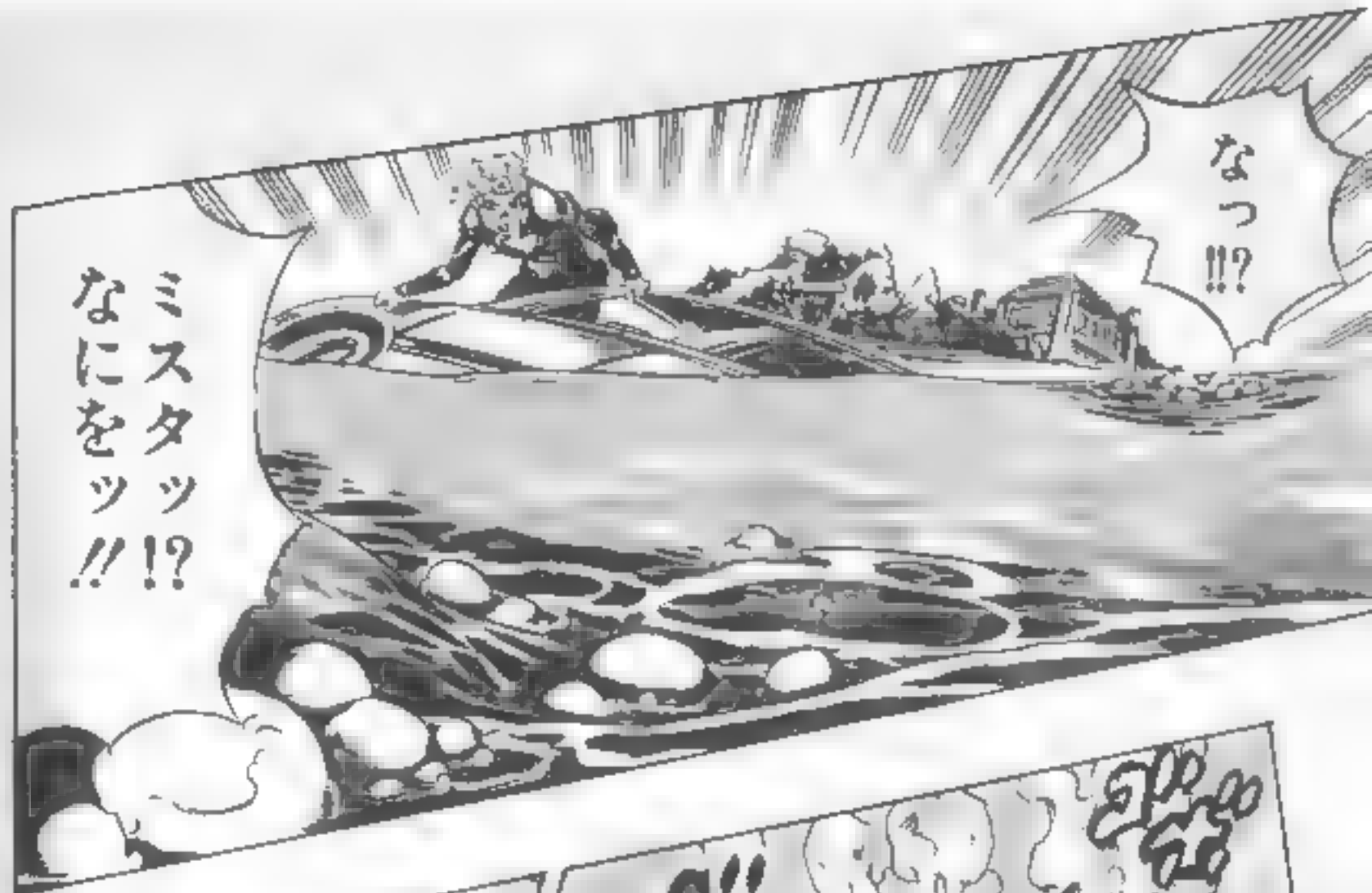
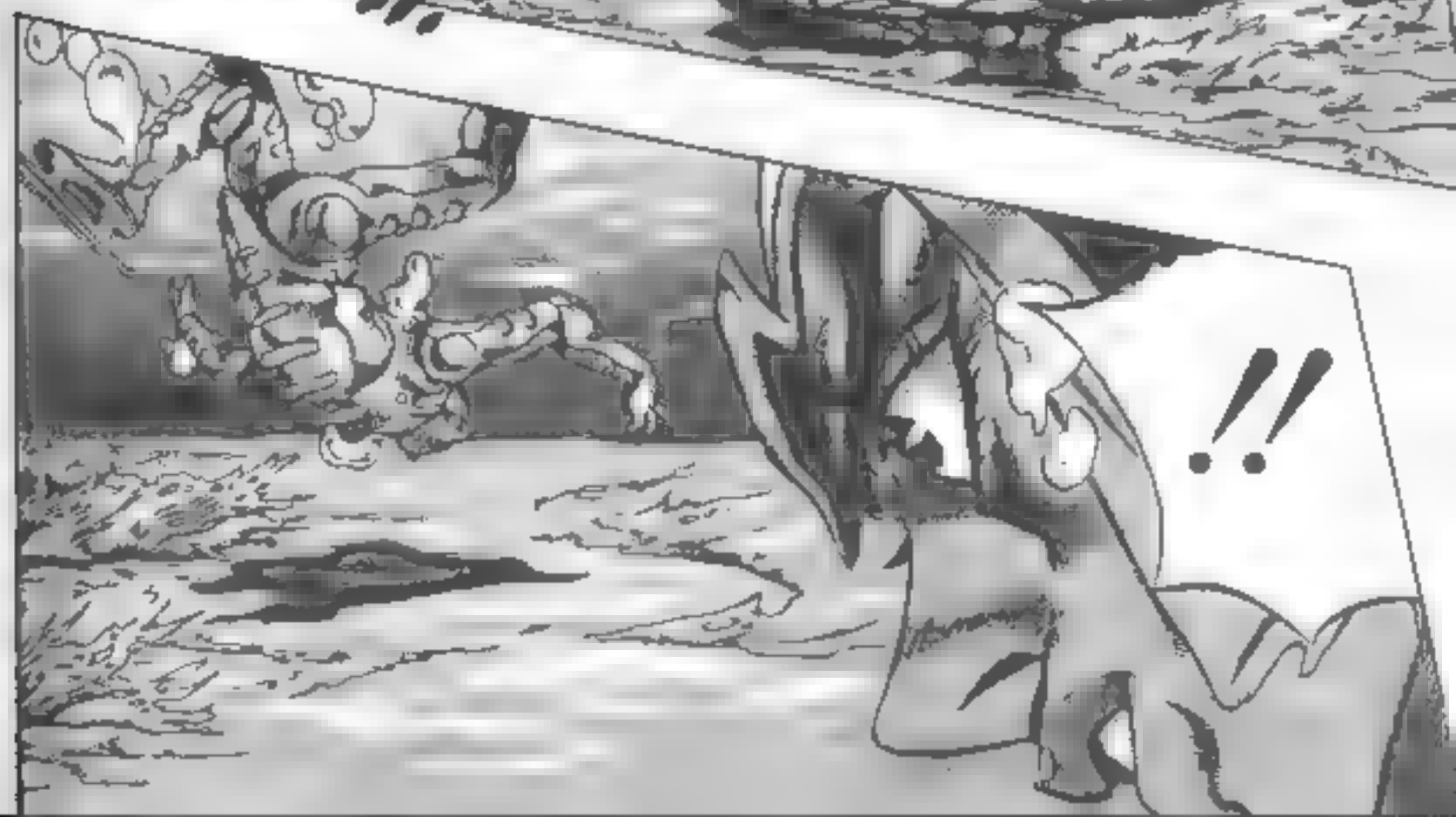
あっ
あっ
あっ
あぐおっ!!

や…
やったか!!
今度追いつかれたらッ!
しかしミスタ! ここで時間ができた! 今のうちに「例のもの」を取り出してすみやかにこの場所から退去をッ!
いや 違い! とりあえず危機を脱出しただけです!!

やつには
今のと同じ
手は もう
通じませんッ！
このまま
行ってください！
ミスタ！

ライオン像を破壊すれば
どこからか「ローSC」が出てくる
それを拾って街中に隠れる…
10数秒あればできる！
しかし身を隠したとして
完全に逃れられるだろうか？
逃れられるかもしれない
しかし逃れられないかもしれない…
だが…
オレの推測ではあるが
「弱点」はあるはずなんだ
……！
「呼吸の穴」を
見つけるなら今だ！
水の中に沈んでる今なら
ヤツの「呼吸の穴」が
わかるはずだ
この野郎は危険すぎる！
しかも もしこいつが
ブチャラティたちと
出会ったなら 最悪の
抜きさしならない状態と
いうのはそっちの方だ！
こいつを始末するのなら
水の中の今しかない！
「穴」を見つけるチャンスは
今だけだッ！
だめだッ！ ジョルノ
こいつは今 始末するッ！
今しか
ねえッ！
殺るのはッ！

なっ!!?
ミスタッ!?
なにをッ!!
ゴボ ゴボ
ガボ!!
ゴボ
ゴゴゴ
!!

あった……
空気がもれている……
間違いねェ……
ヤツはあそこから呼吸している……
「首の後ろ」だ……
ゴボ
ゴボ
ゴボ
ゴボ
ゴボ
ゴボゴボ
ゴボ
よし！狙うのは！ヤツが水面に出た時だッ！
ゴボゴボ
ゴボ
ゴボ

ホワイト・アルバム
その⑤
な…なんて事をッ！ミスタッ！
ここでヤツと決着をつける気か!!
き…危険すぎる賭けだッ！
ヤツにくらわした今のダメージでヤツは「怒り」と「用心」の気持ちが強くなっているッ！今のと同じ様な「手」はもう通用しないッ！
用意はいいか！配置につけ「セックス・ピストルズ」！
「NO1」「NO2」はヤツの向こう側にまわり込め！

ドドドド
ホワイト・アルバム
その⑤

ドドドド
ドドドド
ウェーン コッチヲ 見テルゾ ミスタッ!
ヤツが アンタを見テルッ
マタ 水の攻撃を シテ来ルゼェーーッ
いや
まずヤツは 水面に「浮上」するはずだ
「呼吸」をしに 水面に出てから… オレへの攻撃は その後だ!
その行動は 完璧な防御なんか ないという 証拠だッ!
「空気の穴」
狙撃るのは ヤツが水面に出た その時だ! もう後には 引けねえッ!
標的は 「首の後ろの穴」!! そこに ブチ込むッ!

やはりなッ！
いくぞ「ピストルズ」ッ！
配置につけッ！
タイミングはヤツが空気を吸った瞬間だッ！
ミスタ！ヤツの向コウニ回り込んだ「NO.1」が「首の後ろの穴」がヘルメットデ隠レテ見えなくナッタ！と言ッテイルッ
ドドドドド
ドドド
?
ドド
ドド

「穴」が見エナイト言ッテイルッ！
ヘルメットで「首の後ろ」が「カバー」されてイルト言ッテイルッ！
姿勢ノセイダッ！
穴ンアイタ時ハ頭ヲ下ゲテイルヨーナ姿勢ヲシテイタからヘルメットから「首の後ろ」ガ露出シテイタンダッ！
今ハ頭ヲあげテイルッ！「穴」ガ隠レテイル!!!

ドドドド
「NO.1」「NO.2」が狙撃ハ不可能ダと言ッテイルッ!
ヤツが水面に出マスッ!
水の攻撃ヲシナクルゾッ!
ドドド
泡ハ見エテモ「穴」ガ見エナキャア無理ダと言ッテイルッ!
やかましいッ! そのままの配置についてろッ——「NO.1」「NO.2」ッ!
ドドド

ミスタ!!
てめェよくもオレの額にイィィ!!

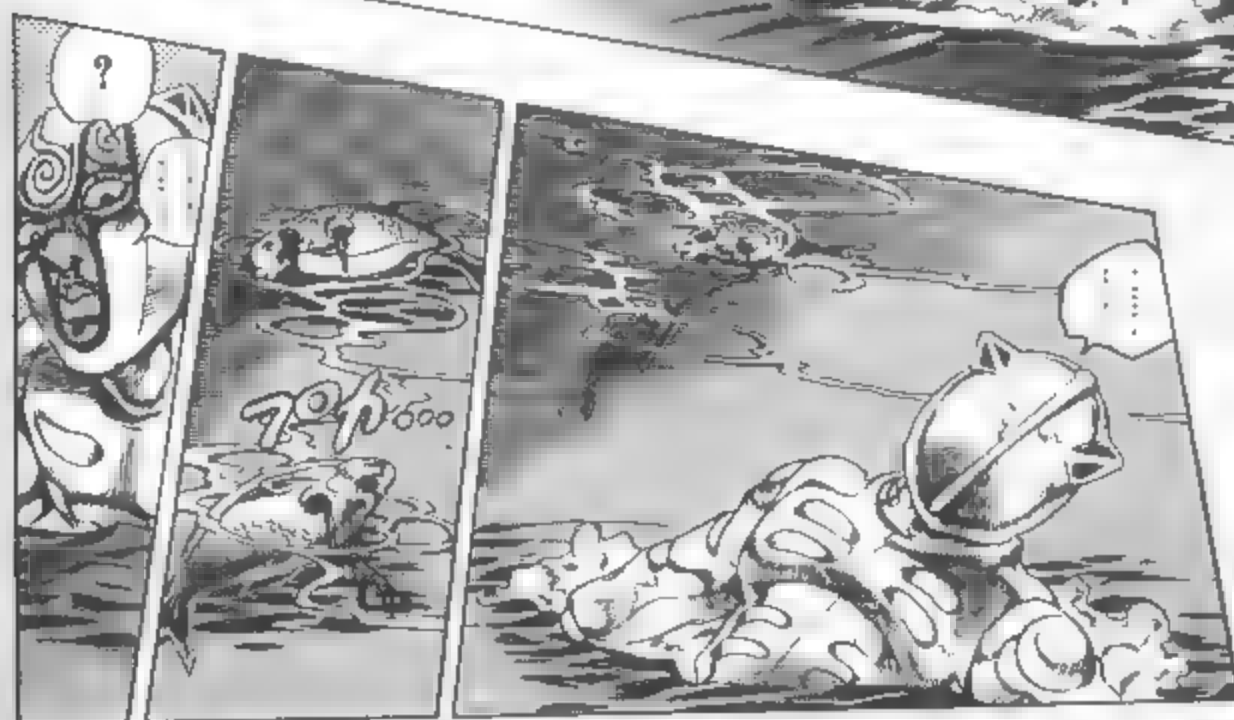
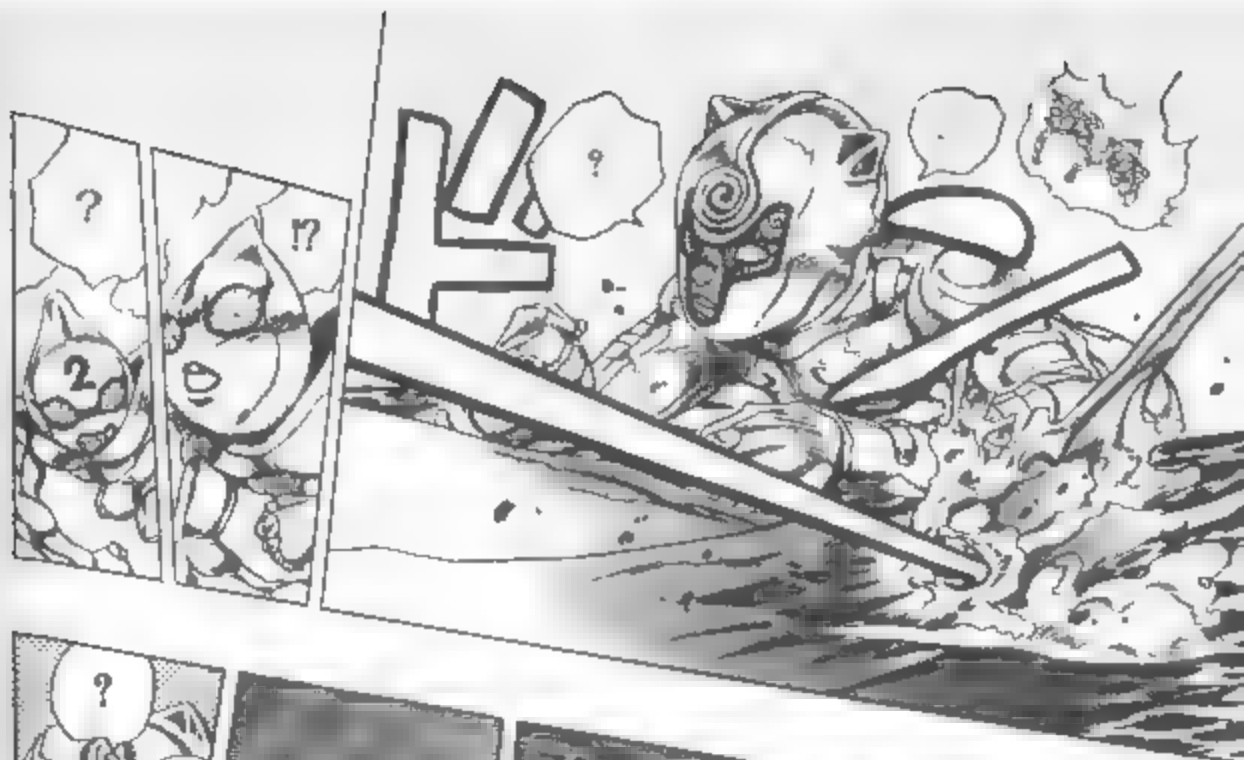
ド
?
?
!?
?
プカ〜
なんだア〜〜〜!?
ジロリ
水中の魚を撃って!?いったい……
ドドドド

なんの……
つもり……
ドドドドド
ドドドド
頭ヲ下ゲタゾッ!!
魚ヲ見ヨートシテェッ!
なんだァ・アァ・アァ
見エタ!
穴が見エル姿勢ヲトッタゾッ!
ドドドド
ガパーーー

来タッ!
コレナラ行ケルッ! タイミングモイイッ!
「穴」ハ完全ニ露出シテルッ!!

イッタアー――
ドッ
ボッ
やったッ！
命中ダッ！
ブチ込ンデヤッタゾッ！

ギュンギュン
ギュン!!
ギュン

ギュイーン
ギュン
ギュン
!?
ギュイーン
ギュン
ギュン
い……
イッタイ ナンダ!? ナンの「音」だ!
これは……
この「音」は……ま…まさか…

オレの「呼吸」の穴を見つけ…狙ったってわけか…
ミスタ
だが すでに説明したはずだッ！「超低温は全てを止める」となッ！それは攻撃を止めるという事ではない！
超低温の世界では動く物質は何もなくなるという事だッ！動く「気体」は流れる「液体」となり「液体」は全て止まって「固体」となるという事だッ！
この音は…
まさかこの音は！

ちなみに「空気」はマイナス二一〇℃で「固体」となって凍り始めるッ！
見えないか？止まった空気が見えないか？よく見ろよ！
「弾丸」だ　ミスタッ！それは空巾で「弾丸」がはね返ってる音だアーッ!!
なにィ!!

『ホワイト・アルバム ジェントリー・ウィープス！（静かに泣く）』
すでに空気の凍った壁を作っていたぜ!!
ミスターーーッ

「スタンドのパワー」はかなり使うが
もう何者だろうと
このギアッチョに「ボルト」なんぞ
打ち込めねえようになッ！
おめーの仲間の
ブチャラティだろうと
細菌をあやつるとかのフーゴの
スタンドだろうと　オレの回りに
来れば全て止まるッ！
これは
おまえから
学んだ教訓だァ
ミスタッ！
ジョ…
ジョルノの
言うとおり
だった…
ハァ
ハァ
こいつ
には
同じ手はもう
2度と通用
しなかった
逃げて
いれば
時間は…あった
身を隠す時間は
十分にあった…
オレのせいだ
オレの責任だ
「あれ」をゲットして
身を隠していれば

ゴミ箱やベンチの座席の下ではない
それらしい物は見当たらないし こんな誰でも見るような場所に置いておくわけがない
だが ミスタの逃げっぷりから見てすぐに見つかる場所に隠してる事は今 予想できた！
どこか？ この写真がヒントになってるはずなんだ
おまえら2人を始末するより早く見つけられるはずなんだ？
くっ……

まずい…
最悪だ
こうなったのは
自分ひとりのせいだと
自分の命を犠牲にしてまでも
「責任」は取ると覚悟している
ドドドドドドドド
ドドドドドド
お前の中から
おもしろくなってきた
だが 暗闇に道を開くのは
「覚悟」のある者だけだ。

スタンド名―「ホワイト・アルバム」
本体―ギアッチョ

破壊力―A	スピード―C	射程距離―C
持続力―A	精密動作性―E	成長性―E

能力 超低温のスーツのようなスタンドを身にまとい、アスファルトの道路を氷上をすべるかのように進撃してくる。スーツの中は[illegible]でもあたたかくぬくぬく。弱点は呼吸のための空気を外から取り入れねばならないこと。ちなみにこの世の最低温度は摂氏マイナス273.15℃だが、最低温度においてすべての物質は運動をやめる

A―超スゴイ　B―スゴイ　C―人間と同じ　D―ニガテ　E―超ニガテ

ホワイト・アルバム その⑥

たとえこの身がズタズタに!!
朽ち果てようとも……!!
決してッ!
て…め…えッ!
それだけはッ!! 決してッ!
なんだ……!!
これは!? よォ〜
何か出て来てるぜエエエ〜〜〜

これはッ!

埋め込んであったのかッ!
像の岩の切れ目か
…どこかに…!!

チクショオオオ
オオオオオ
至近距離
なら…

もう一度!

首の後ろの
「呼吸の穴」に…
絶対に呼吸は
してるはずなんだ!
やつに近づいて「弾」に
「穴」に ブチ込めばッ!
弾の「部品」はやつの額に
ブチ込めたんだッ!
至近距離で空気の壁を
くぐって狙えばッ!!

ミスタは
今!

ヤケになっているッ!
責任は自分の身を
「犠牲」にして
償うーーと!

だがッ!
追いつめられた
根性ではないッ!
「覚悟」だッ!
「覚悟」が
必要なんだッ!

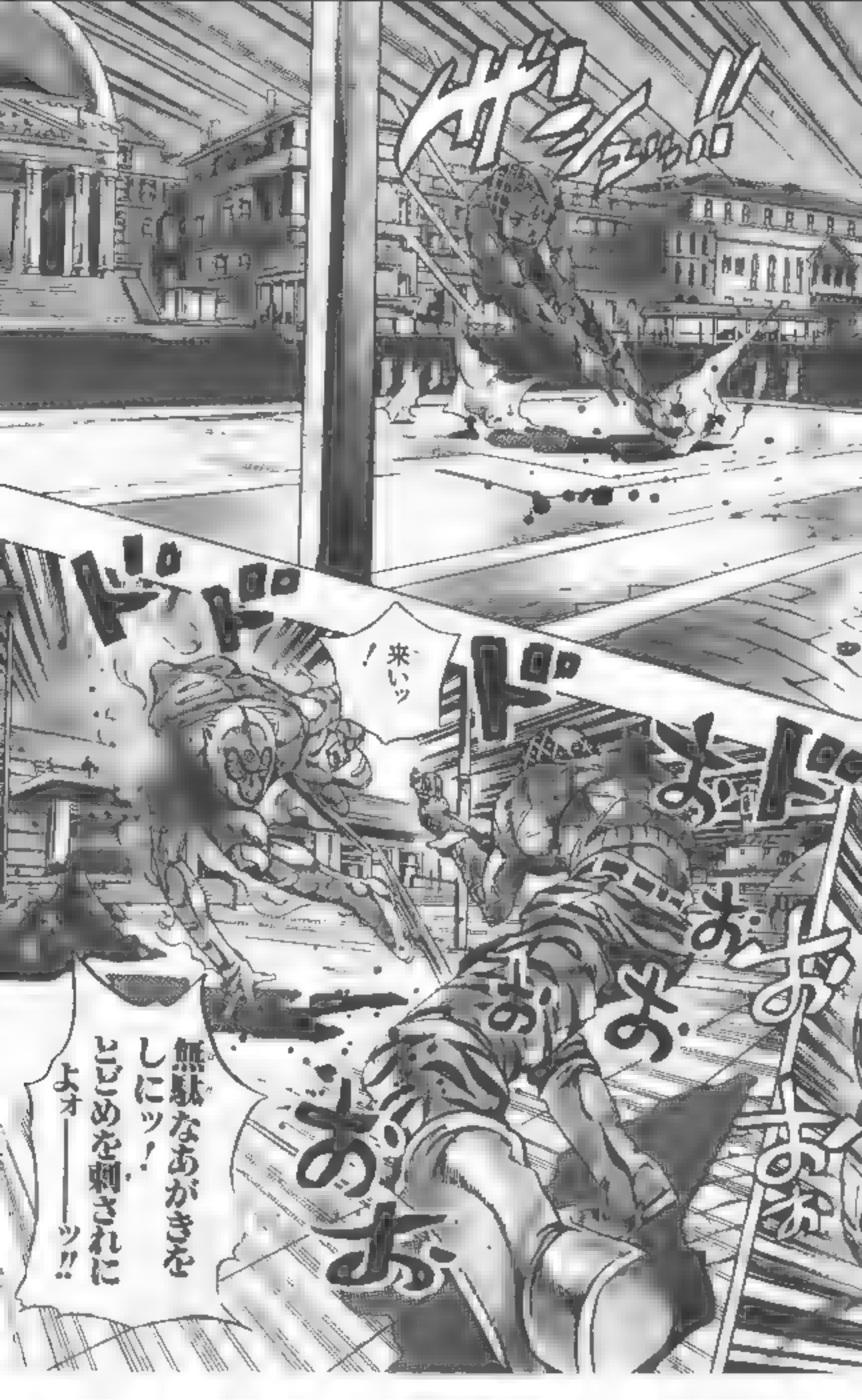
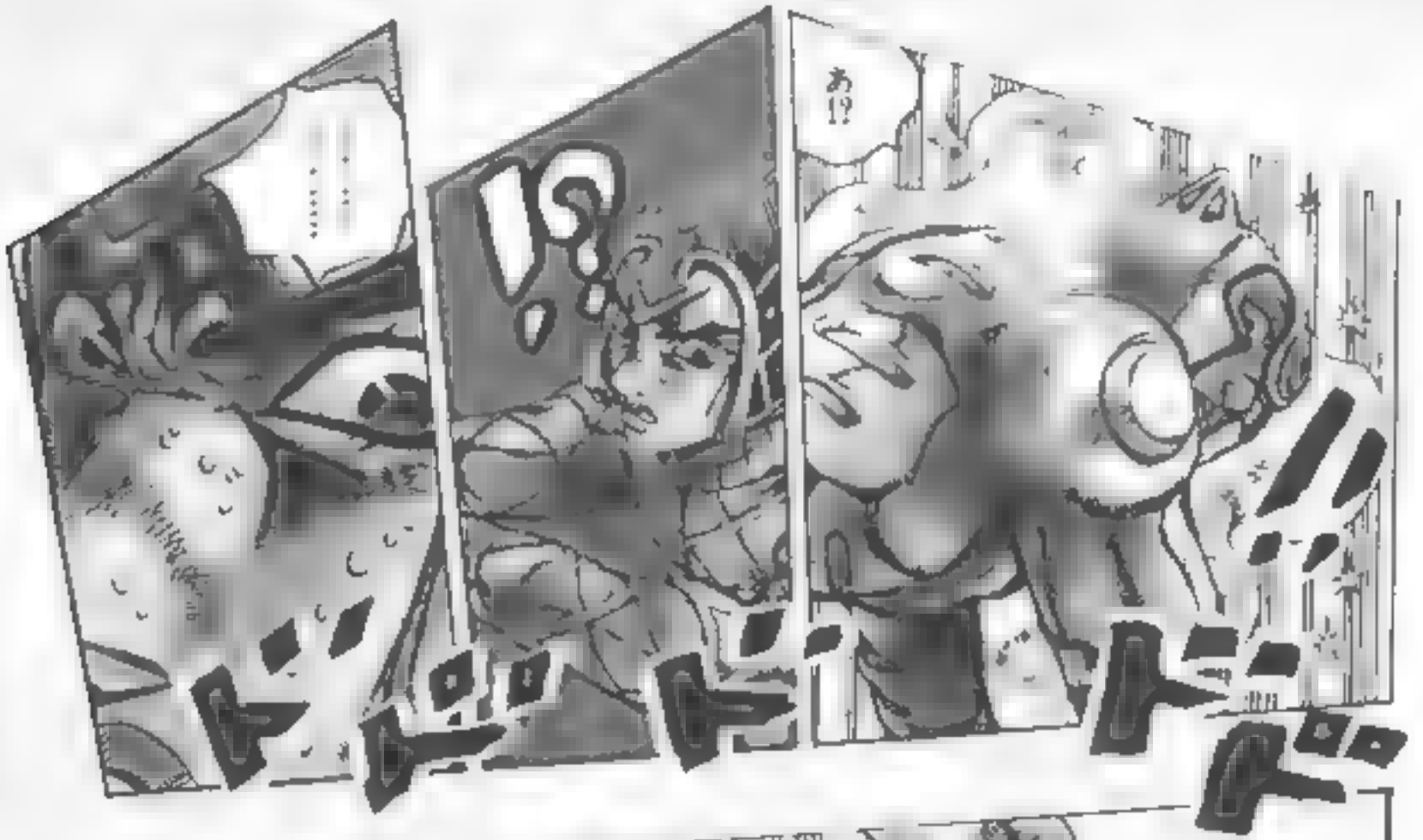
「覚悟」とは……
犠牲の心ではないッ！
ドドドドド
コンピュータの「DISC」ッ！
やはりッ！
情報だッ！
おまえらが手に入れようとしていたのは「ボスに会う方法」だッ！
ドドドド
やったぞッ！これでオレたちが「ボスの正体」をあばきに行けるぜッ！
そして残るはッ！

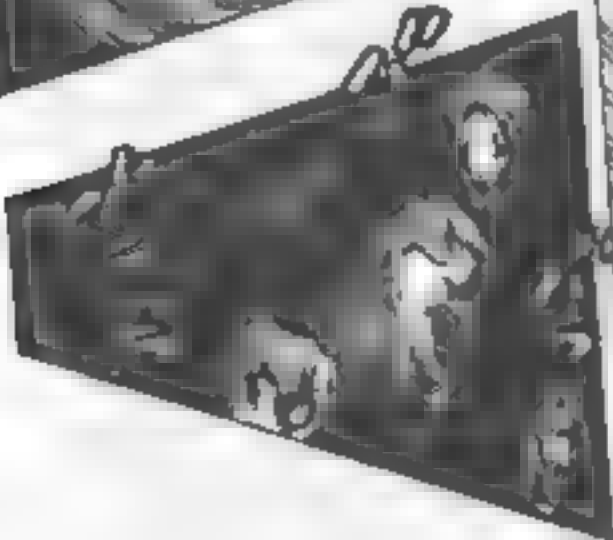
『トリッシュ』だッ
てめーらを始末してから
よオオオオオオッ!

来いッ！
無駄なあがきをしにッ！
とどめを刺されによォーーーッ!!

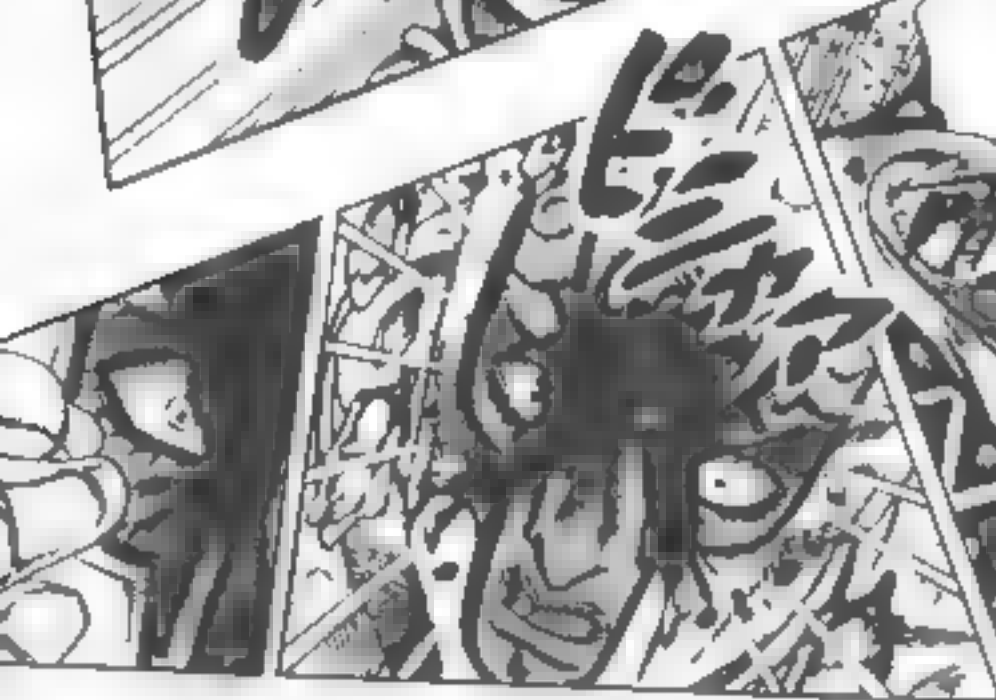
ミスタアアアアアーッ

ドドド
ドドド
ドドド

うぐうッ
ううう!!

あ!?
「覚悟」とは!!
暗闇の荒野に!!
進むべき道を切り
開く事だッ!
なにやってんだあああ
!?
!?
!?

……!!
ジョルノが吹き飛ばした血のしぶきが
見える……
『道』が……
はっきりと……確実に
今度は見える……

そこだ――ッ!!
ジョルノッ!
たしかに
進むべき道がッ!
暗闇に
見えたぜッ!
ドドドドドドドド

行けッ！
ピストルズッ！

おめーら「ホワイト・アルバム」の能力
血しぶきで防御壁のスキ間を見つけるそう考えたってわけか？
どーゆう事かをよォ～～～～～
解説した事を理解してねぇようだな…
え!?おい
!!
超低温で「空気」は凍ってるんだ
凍って固まってんだぜェ
わかるかおい？「凍」った空気の塊を
この「スーツ」の内側に取り入れて中で溶かせばよォ空気は元に戻るッ！
こんな「やり方」でよぉ～

こうやって取り込めば!
空気ボンベを背負った「潜水夫」のように空気の穴なんかもう必要ねえんじゃあねーか?
こっ…
「呼吸の穴」が埋マッテアルゾーッ
弾丸はハジカレテルンダッ!
6発ッ! タッ 大変だッ!
今6発ノ弾丸ガ宙ニ舞ッテイルッ!
おい~~~~
覚悟はできてんだろうなあああああああああ
とどめだッ!
ミスタ――ッ

終わったな…

ああ…たしかに「覚悟」はできたぜ…ジョルノ
おまえの…「行動」がなかったら…おれは…ヤケに…なっていた……
自分の強さを…あえて身に受ける…この「覚悟」への「道」は……!!
!!
……………

見ッ……見えねえ……
血…血が凍りついて…固まっ…!!
やッ やばい! ぬぐえねえッ!!

ヨロ

うおおッ！
さっき弾丸を
バウンドさせた
鉄柱がッ!!

ミスタ！

すでに弾丸で
『彫刻』をッ！

ドス

あぼっ!!

イテッ！痛てええぞッ！
生…生アアアナマッ！
生暖けえものがオレの首のうしろから…
血か！？血が出てんのか！？
うそだ…そんなバカなッ！何か尖んがっているモノがオレの首の後ろに…さっきボルトをくらった時のように突き刺さって来ているというのかッ
まさか！オ…オレの「ホワイト・アルバム」が…オレが全体重をかけてのけぞったからか！
トロ…
ホワイト・アルバム その⑦
おまえ…このオレに……
「覚悟」はあんのか…と…言ったが
!!
見してやるぜ
ええおい
見せてやるよ

ただし
おまえにも
してもらうぜッ！
ゴゴゴゴ
ゴゴ
ゲロッ
ホワイト・アルバム
その⑦

ゴゴ
ブチ砕かれて
あの世に旅立つってエエエエ
「覚悟」をだがなああああああ
〜〜〜〜ッ
オレを このままもっと
のけぞらせる気だッ!!
ガムシャラにッ 正気カッ!
押しきるつもりだッ
やばい「鉄棒」を
引っこ抜かなくてはッ!
ドドド

ヴッ!
うおおおおおおおおおおおおおお
うおおおおおおおお
ドギャ!!

無茶ダ！ミスタ！弾丸ハ戻ッテクルッ！
アンタの方がモタナイッ！
突っ切るしかねえッ！真の「覚悟」はここからだッ！『ピストルズ』！てめーらも腹をくくれッ！
おおおおおおおおお

おおおおおおおおおおおおお

『ホワイト・アルバム
ジェントリー・ウィープスッ!』
うぬあああああ
おおおあああああ

うおおおおおおおお
ミスタァーーーッ!!

ゲ…限界ダ！ミスタ！
消エル！
ミスタ！アンタノ意識ガァ！
オレタチの存在ガ…
消エテイクッ！モ…モウオレたちにはカハナイッ！消エテ行クッ！
ま…まだだ…
オレにはまだ！意識はあるッ！まだ撃ち込んでやるッ！
!!
!!
ヤッ！ヤッタゾッ！
完璧！食い込んだッ——ッ!!

違……
う……
な……
ガフッ！
「覚悟」の強さが……
「上」……
なのは…
オレの方だぜ
グイード
ミスタ…
!!
え!!
ここまで…オレを
追い込んだのは
ミスタ…
敬意を表して
やる…
首から出た
血を凍らせて
柱のように
「固定」したッ！
……
だが…
今度
覚悟を
決めて
ギリギリの
ところで
吹き出す
「血」を利用する
のは…
オレの方だ…
ミスタ
これ以上
のけぞらねえよ
うにッ！
ガッシリとッ！
これ以上
食い込まねえように
なあああ

モ…モウダメダ…消エル…
ミスタの…魂ガ…
ソレ…ダガ弾丸ガ最後ニ撃ッタ発ガ宙舞ッテイル……
頭にッ！勝ったア———ッ!!

う!?
!!
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド

ドドドド
ドドドド
ミスタ・・
あなたの「覚悟」は・・・
この登りゆく朝日よりも
明るい輝きで「道」を
照らしている
な・・・
・・・!!
ドドドド
そして我々が
これから
「向かうべき・・・正しい
道」をもッ!
ドドドド

なんだってエエエエエエエエエエエエエエエエ
無駄
無駄無駄
無駄
無駄
無駄
無駄
無駄
ドドドドドドドド

無駄無駄無駄無駄
無駄無駄無駄
うぐ
えええッ!

ボギッ
…………

最近……
気づいて来たが…このジョルノ・ジョバァナ……
新入りのくせに…いつの間にか…
ジョルノの言っているように
そのとおりに事が動く
今の「覚悟」は
ジョルノの「覚悟」でもあった！ それが知らず
知らずのうちに オレの
心に伝わった
まるでブチャラティ以上に
オレの幹部であるかのように
オレを動かした
ミスタ！……
DISCは無事ゲットしました
あなたのおかげで
治せ…
か…息…
息ができねえ
おめーの能力を期待してなきゃ とてもできねえ「覚悟」だったぜ
オレが死んじまわねーうちに…早く治せよ…
オレ…の傷を…ジョルノ
もちろんです ミスタ
しかし はっきりさせときたいんですが ゴールド・Eの能力は 正確にいうと「治す」んじゃなくて
体の「部品」を作るんです めり込んだ弾丸に生命を与え 破壊された血管や組織を作って 埋めるんです
治すんじゃあないから「痛み」は当然残るんですからね 後で文句はたれないでくださいよ
いげッ!!

い…痛でエエッ！よッ！
うあう
もっとやさしく
やさしくゥ！やってくれよジョルノ
だから無理ですって！ギャングなんだから動かないでくださ、
キズはあと11ヶ所。ほどあるし それに弾もぬかなきゃ 穴はふさげません
ブチャラティ！駅前に近づいてますが反応が「2人」あります
他は静かだ 早朝なので動くものは誰もいないようです
用心して近づけ…だが それはたぶんミスタとジョルノだろう
何事もないのでノン気こいてオレたちを待っているに違いない！
お！いた！おいミスタ ジョ…
あう！ジョルノ！もっとやさしく
モニョラメ！ダメフルタメッ！タメッ！

ああ！
やさしくして
やさしく～！

あう
あああ

……………

!!
!!!

！

どうだ
ナランチャ
いたか 2人は

え！

い
そうッ
その

あの

い
いいえ！

あれッ！
急に目に
ゴミが入った！

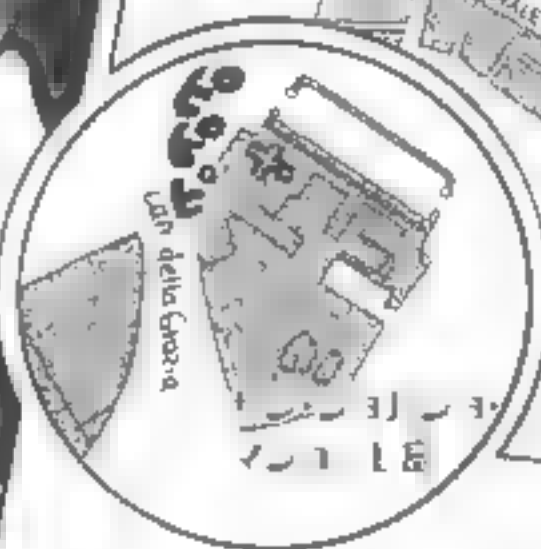
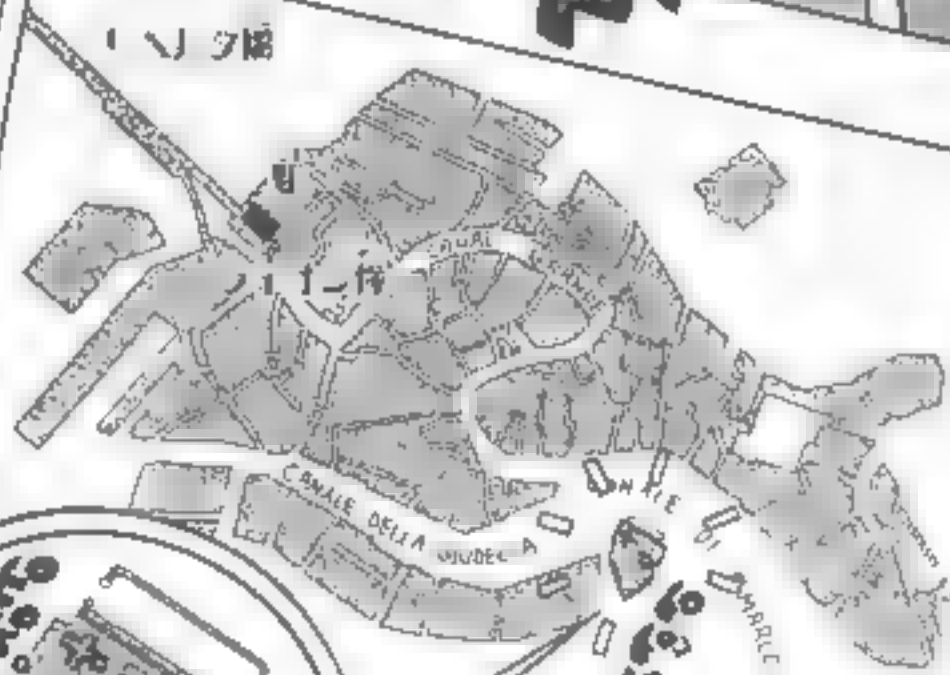
見えないぞッ
2人なのか
よくわからない
ぞッ!!

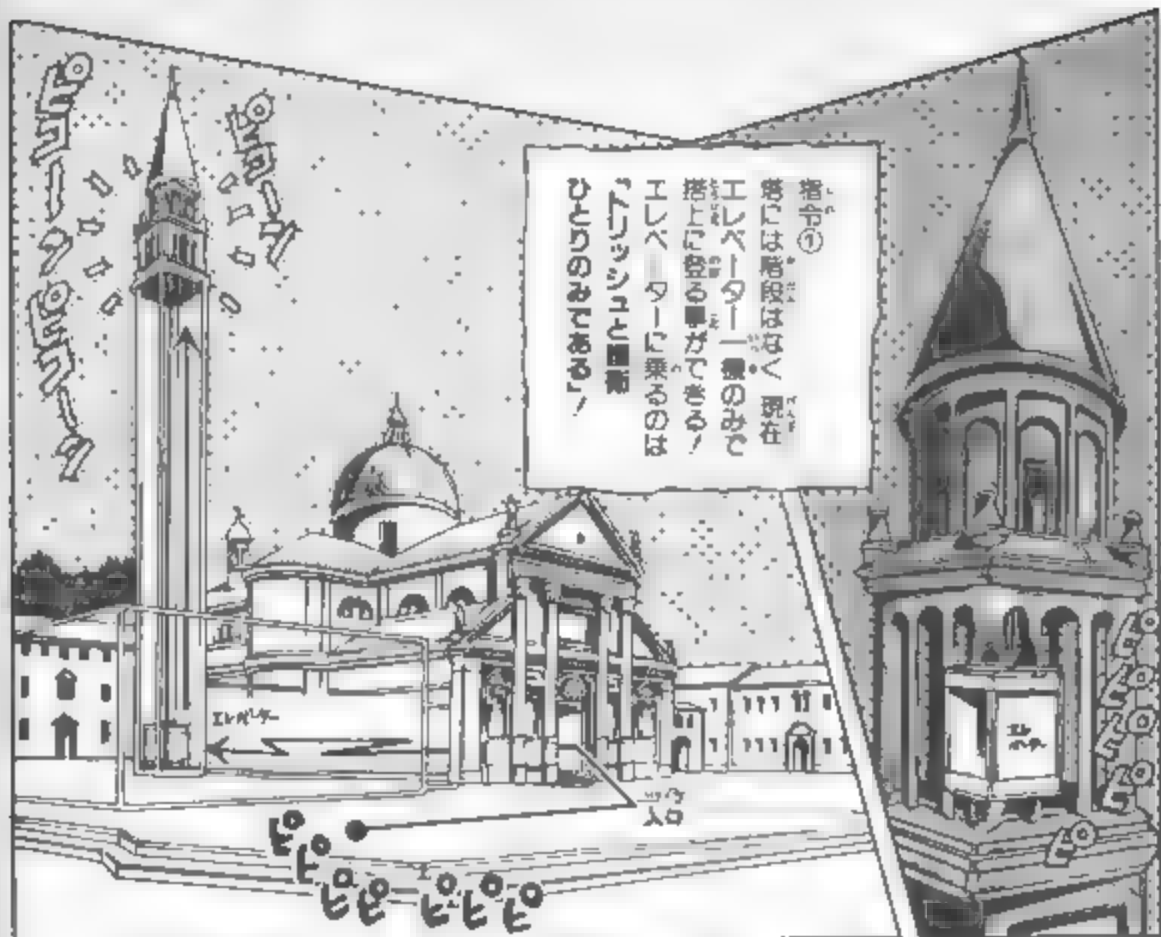
見ていない！
オレは見てないぞ
なあ～んにも
見てないッ！

ボスよりの最終指令（さいしゅうしれい）

「目的地」は見えているのか？フーゴ
ええ 見えています
距離は約200メートルあまり
それとまわりには怪しい飛行機はぜんぜんいないッス！
よし そのまま進めッ
今 もう一度 ボスからの「指示」を確認している
用心しながらボートを進めるんだ
さっそくだが まず断っておく事がある このDISCに入力してある情報は 君たちがネアポリスの町から「列車」に乗った時点で入力したものである
したがって「追っ手」があと何人残っているのか？
君たちの「チーム」がこの任務における戦闘において何人失ったのか 現時点でのわたしには知るよしもない事をまず断っておく

あと ひとり 残ってるはず……
「追っ手」の チーム は……
引き算 だと……
このヴェネツィアに 到着してるか どうかは わからないが
そして このDISCの情報は 「娘」と安全に 出会うための方法であり 君たちへの「最強の指令」である
なお…… これから述べる「指令」と 少しでも違った行動を 君たちがとる事は 決して許されない という事も 断っておく……
もし 誰かが「指令」と 違った行動をとったのなら たとえそれが偶然の事故で あったとしても わたしは 「それを悪意ある 危険信号とみなす」
「わたし」と「娘」が 安全に出会う事が 非常に むずかしく なるからだ！

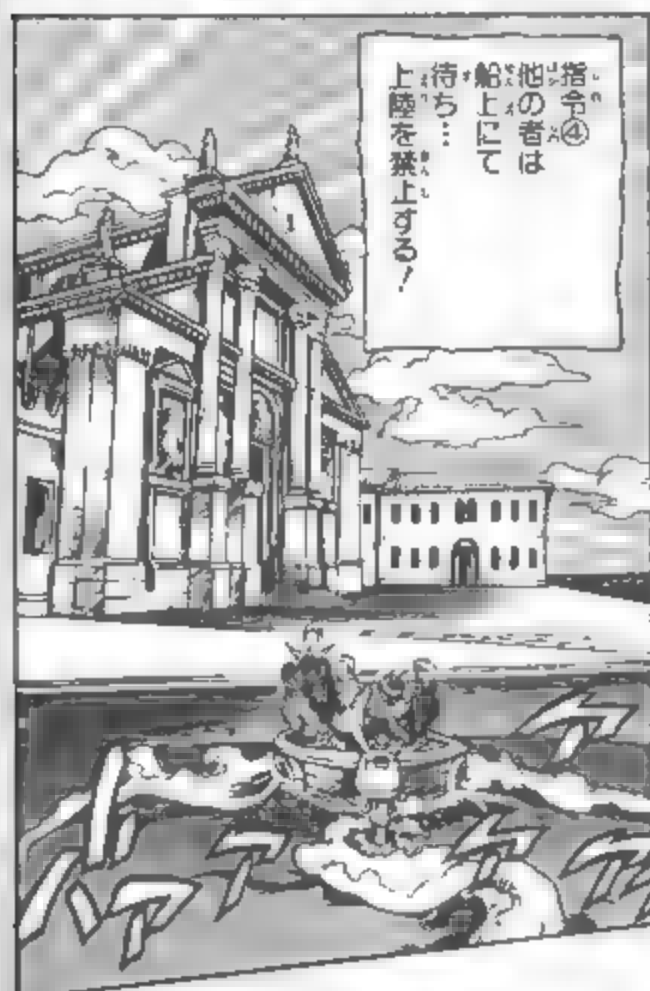
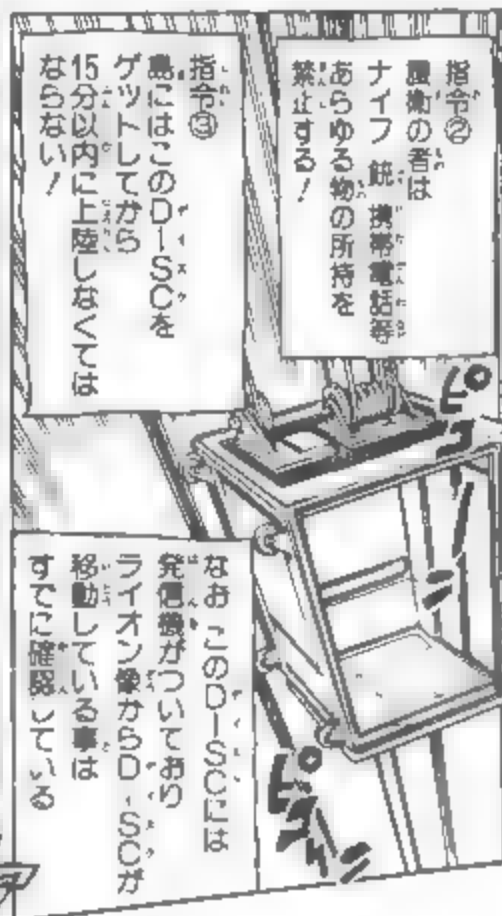
それでは指令を述べる！
これより君たちが向かうのは「サン・ジョルジョ・マジョーレ島」〃

たったひとつの教会のみある島で
そこにはたったひとつの大鐘楼(塔)がある!
娘を連れてくる場所はその「塔の上」ッ!
「塔の上」に娘を連れて来た時点で終了するッ!

ピコーン ピコーン

指令①
塔には階段はなく 現在
エレベーター一基のみで
塔上に登る事ができる!
エレベーターに乗るのは
「トリッシュと護衛
ひとりのみである」!

エレベーター

入口

ピピピピー ピピピ

ピピピピピ

指令②
護衛の者は
ナイフ 銃 携帯電話等
あらゆる物の所持を
禁止する!

指令③
島にはこのD-SCを
ゲットしてから
15分以内に上陸しなくては
ならない!

ピコーン

なお このD-SCには
発信機がついており
ライオン像からD-SCが
移動している事は
すでに確認している

指令④
他の者は
船上にて
待ち…
上陸を禁止する!

あの「塔の上」に 今…
ボスがいるのかァ……
ものスゴク用心深い、
だが ああじゃなきゃあ 組織のボスなんか やってらんねーんだろうがな
しかし ま
オレたちの任務も ここでおわりだな 全員無事だったしよォー
よかったってところか？
かろーしてだったがなあー
オレもう ヘトヘトだぜ
これからこのヴェネツィアで何日か遊んで帰ろーぜ オレたちの街ほどじゃあねーが
ここも飯がうまいそうだ
ここ料理うまいの？
何かあんの？ どんな料理
オレ スゲー腹空いてんの思い出したよ
ピザはダメだが
「イカスミ」のパスタとかよ 「毛ガニのサラダ」だろ 「チプリアーニホテルのカルパッチョ」って生肉料理は絶品らしい
ほんと 2日間の任務 ろくな食事とってませんからね ぼくはヴェネツィアン・グラスでワインが飲みたいな
おい ナランチャ！ レーダーを見張っていろッ！
てめーらも まだ気 抜いてんじゃあねえッ！
……

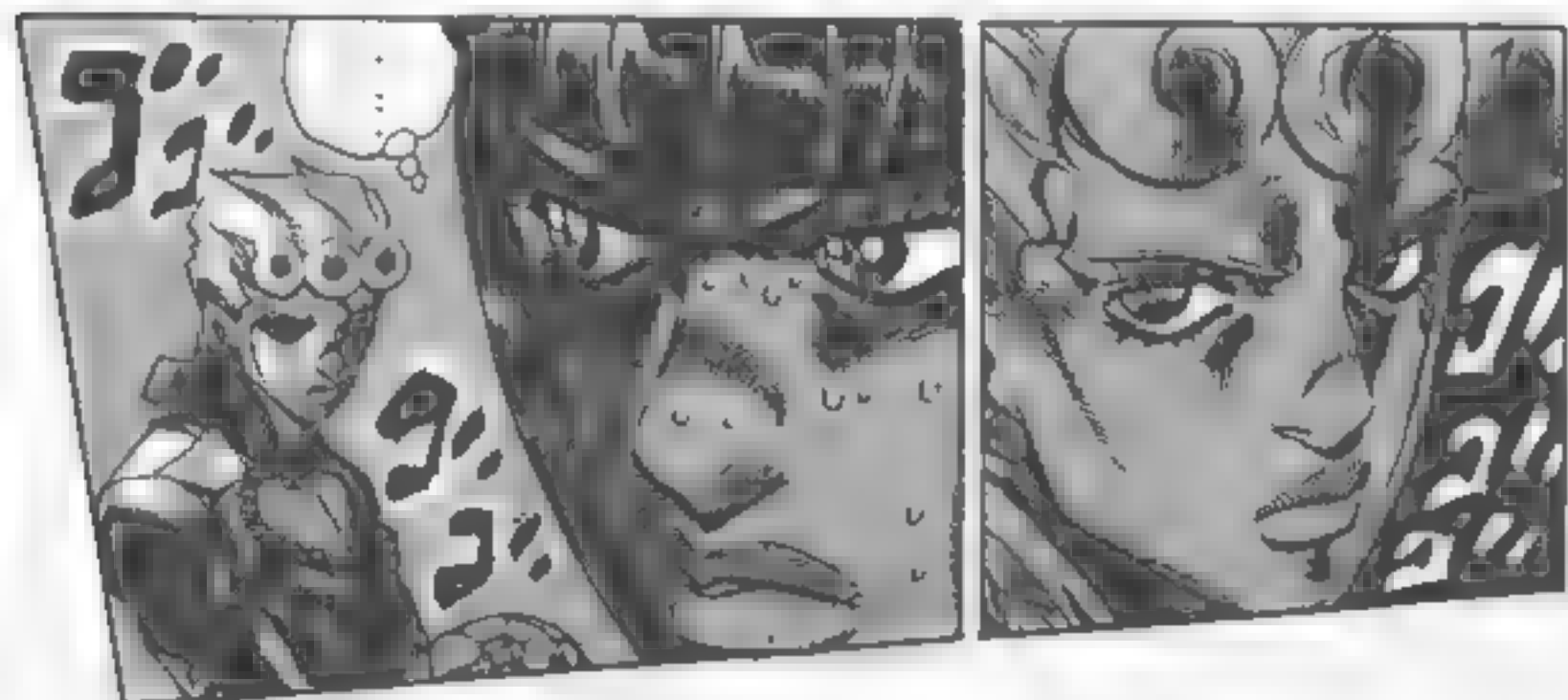
………
ブチャラティ………
彼女の護衛なら
ぼくが志願します
……
ぼくが…
彼女を「塔の上」まで
連れて行きます
ダイ
………

イキナリ何言ってんだよてめー
何で護衛すんのが新入りのてめーなんだよ!?
……

ボスは「誰」とは指示していませんし……
任務はもう終わったも同然なら連れていくだけならこのぼくが
幹部のブチャラティが連れてくに決まってんだろーがァーーーッこのタコッ!
ボスは誰が無事かわかってねーから こう指示してるだけだろーが!

……

当然だ……
オレが行く
さあトリッシュ…命令どおり2人だけで上陸するんだ

…

わかってる
ジョルノ…
わかってる…
「ボス」の正体を
ほんの少しでも
知るのには……
今がチャンスだ
「トリッシュ」の護衛は別として
必ずつきとめる…
キッカケだけでも 必ず…

そうだ…
ジョルノ！ 最後の
任務がうまく
いくように
おまえのその
「お護り」を
くれないか
？
てんとう虫は
「太陽の虫」
生命の象徴
だったよな

「お護り」
なんだろ？
そのブローチ

……
……
……

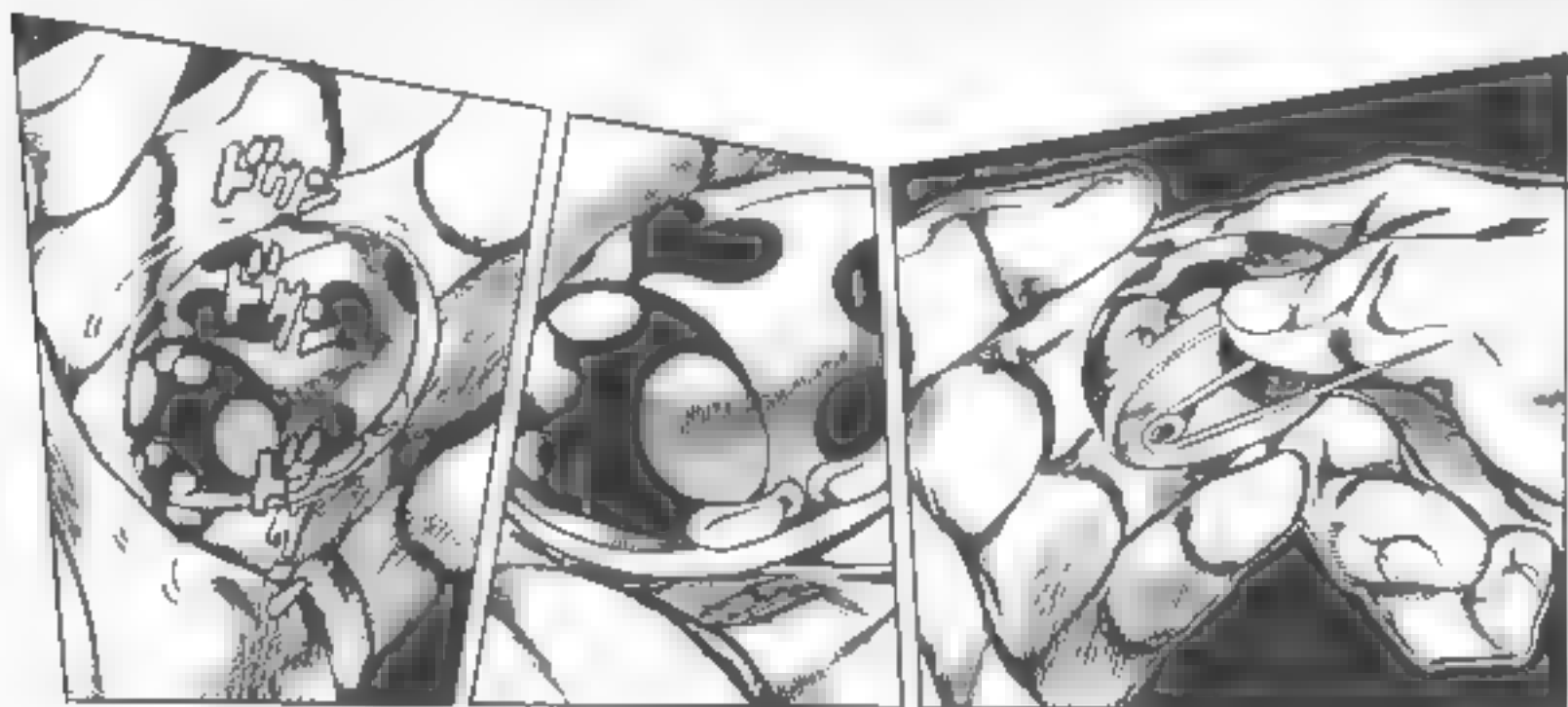
そうだろ
ジョルノ
？
……

ああ…
そうでした
ええ
そのとおり
です
「てんとう虫」は
お天とう様の虫です…
幸運を呼ぶんです

ドクン
ドクン

『ゴールド・E』の
能力…
「てんとう虫」のブローチに
生命を与えた…
このブローチは
『探知機』になる…
どうにかしてオレが これを
ボスの体につければ ジョルノには
その居場所がわかる…
今は「正体」をつきとめるだけだ
必ず………

ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

ゴゴゴ
スッ…
ボタンは「一階」と「塔上」の2コだけだ
直通で他に降りる「階」はない
あたし…
……
ガタ ガタ

これから どうなるの!?

あんたたちのような ギャングに いきなり「ら致」されて 命を狙われて……

そして 会った事もない 愛情なんかない 父親のところに 連れていかれる……

あたし これから どこへ行くの!?

……

「ボス」は……

ただ 君の無事を 心配してる だけだ……

君がこれから どうなるのか?……

オレの考えでは たぶんこうだ……

まず君は 違う名前になる 顔を整形するかもしれない 身分も戸籍も違う人になり オレたちの知らない所で… きっと遠い国で… 幸せに くらすんだよ…

君の父親は そういう「力」を もった人だ…

不安でしゃがんでたんじゃないわ！
籠の中にずっといたから足がシビレたのよッ！
あたし……………
父親の事………………

好きになれるのかしら？

そんな事を心配する親子はいない

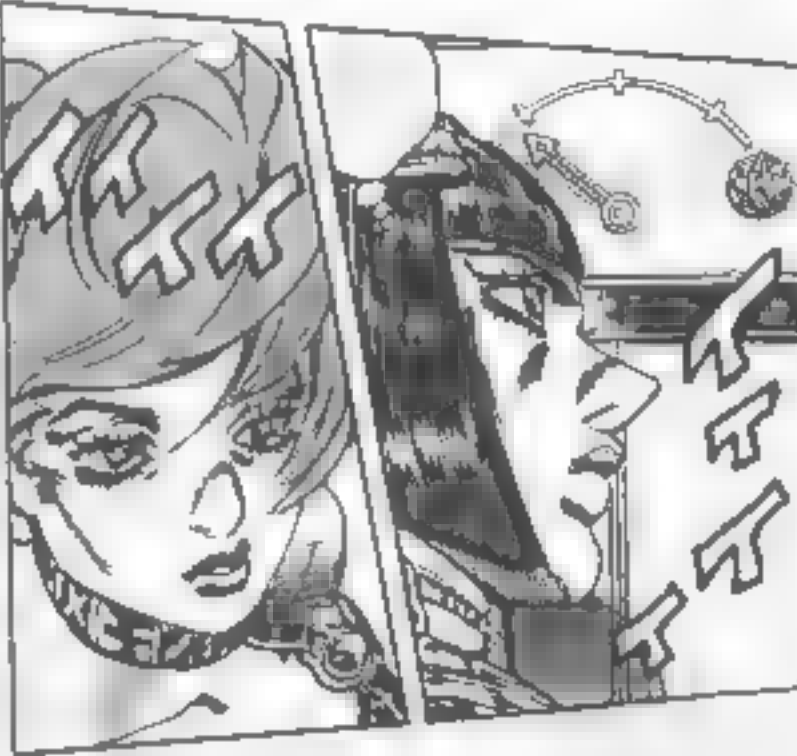
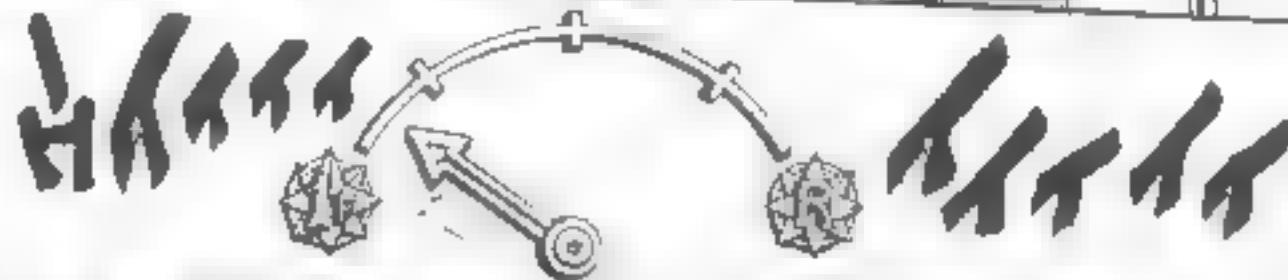
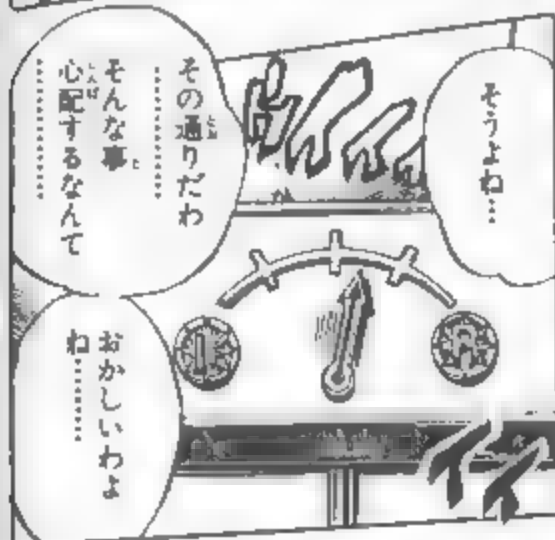
そうよね…

その通りだわ……
そんな事心配するなんて……

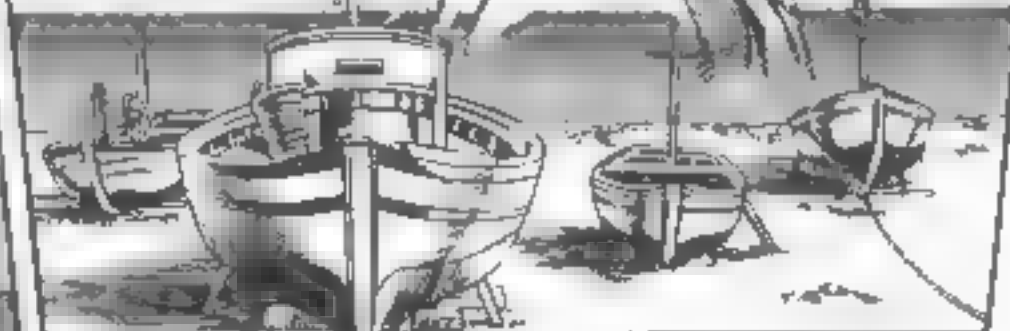
おかしいわよね……

着くぞ！
「頂上」だ……

トリッシュ"
トリッ……

なにイイイイイイイイッ――ッ
イイ

トリッシュ!!
!!!!!!!!
まさかッ!
そんなッ!
まさか――ッ!!
まさかッ!ボスはッ!
自分の正体を完全に消し去るため…
トリッシュ!!
オレたちに護衛の任務をさせたのはッ!
自分の娘を確実に自らの手で始末するためなのかァァァァァ――ッ!!

ブローノ・ブチャラティ その少年時代

父親は人づきあいはヘタだったが
まじめで 正直な漁師で
このせのあらゆる残酷さから
家族を守ろうとした男だったし
母親はとてもやさしく
ブチャラティは
母との会話がとても好きだったし
寝る前に母に読んでもらう
本はとても楽しみだった
母は父にこの村を
出ていくと宣言し
そして話し合いの結果
2人は7さいのブチャラティに
「ひとつの選択」をさせる事にした
離婚の原因が
なんなのか？
それは両親の間でしか
わからない事なの
だろう……
ブローノ……
父さんと母さんは
あなたの事を
愛してるけど
これからは別々に
暮らすの
あなたは「父さん」と
暮らしたい？
それとも「母さん」と
暮らしたい？
あなたに
決めてもらい
たいの

母さんといっしょにこの村を出て都会に行きたいでしょう？
それとも父さんといっしょにこんな何もない村に残る？あなたは頭がいいしいい学校にも行きたいでしょ？母さんと暮らしたいわよね？

…………
……

母親の説明は公平ではなく誘導的ではあったが……父親はただ黙っていた
7さいの子供なのだ母親に甘えたい年頃なのだ母と暮らすのが自然なのだろう……

母さんといっしょに来るわよね？
ぼくは父さんといっしょに暮らすよ

なんですって？ブローノ!?
ぼくは父さんといっしょにここに残る……
もう一度よく考えて！母さんの方が好きでしょう？

………
………

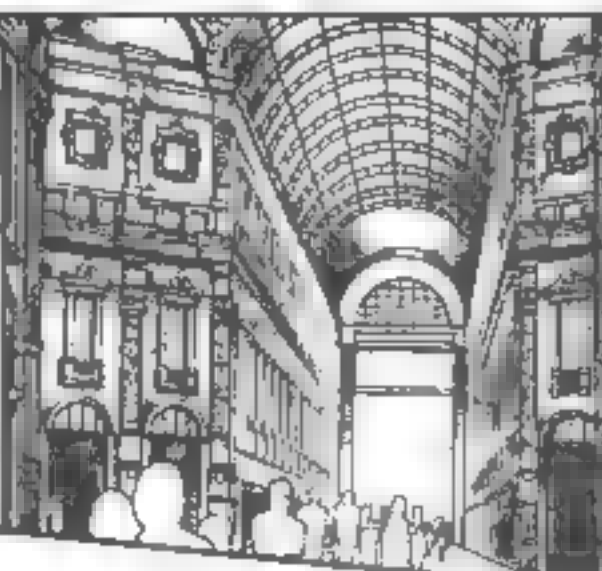
息子は本能的にこの離婚で
真にダメージがあるのは
父親の方だという事を
知っており……
母は泣いてはいるが
都会に行っても
きっと過去を忘れ
元気にやっていける……

だが父は……
彼のような男は……
過去をひきずり
きっとダメに
なってしまうだろう

「いっしょに
いてやらねば
ならないのは
父の方なのだ」

それが息子
「ブローノ・ブチャラティ」の
生まれた時からの
性格なのだという事を
母は知っていた

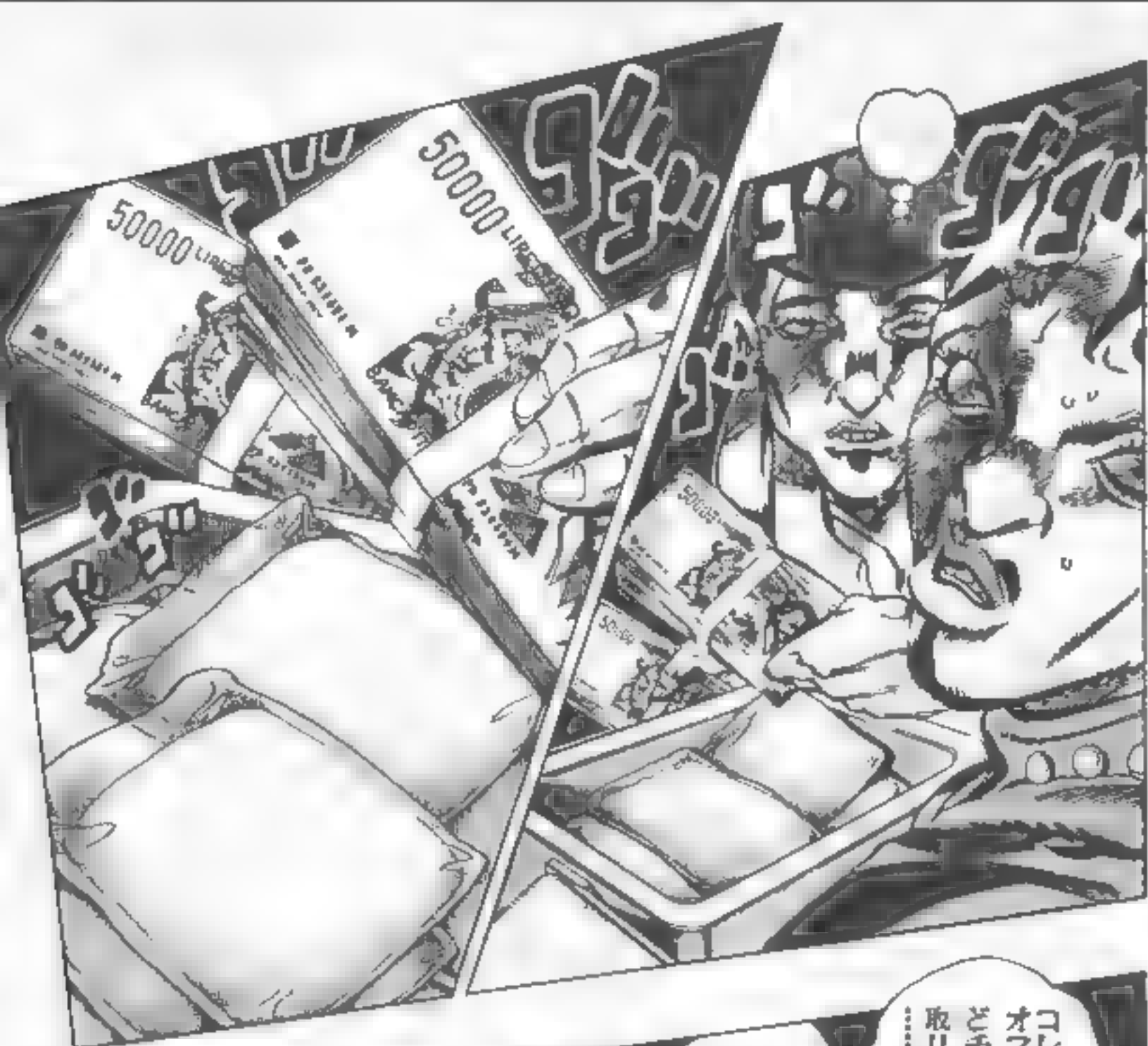
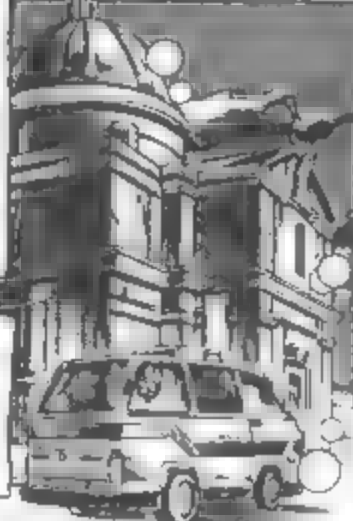
そんな息子を
母は誇りに
思うと同時に

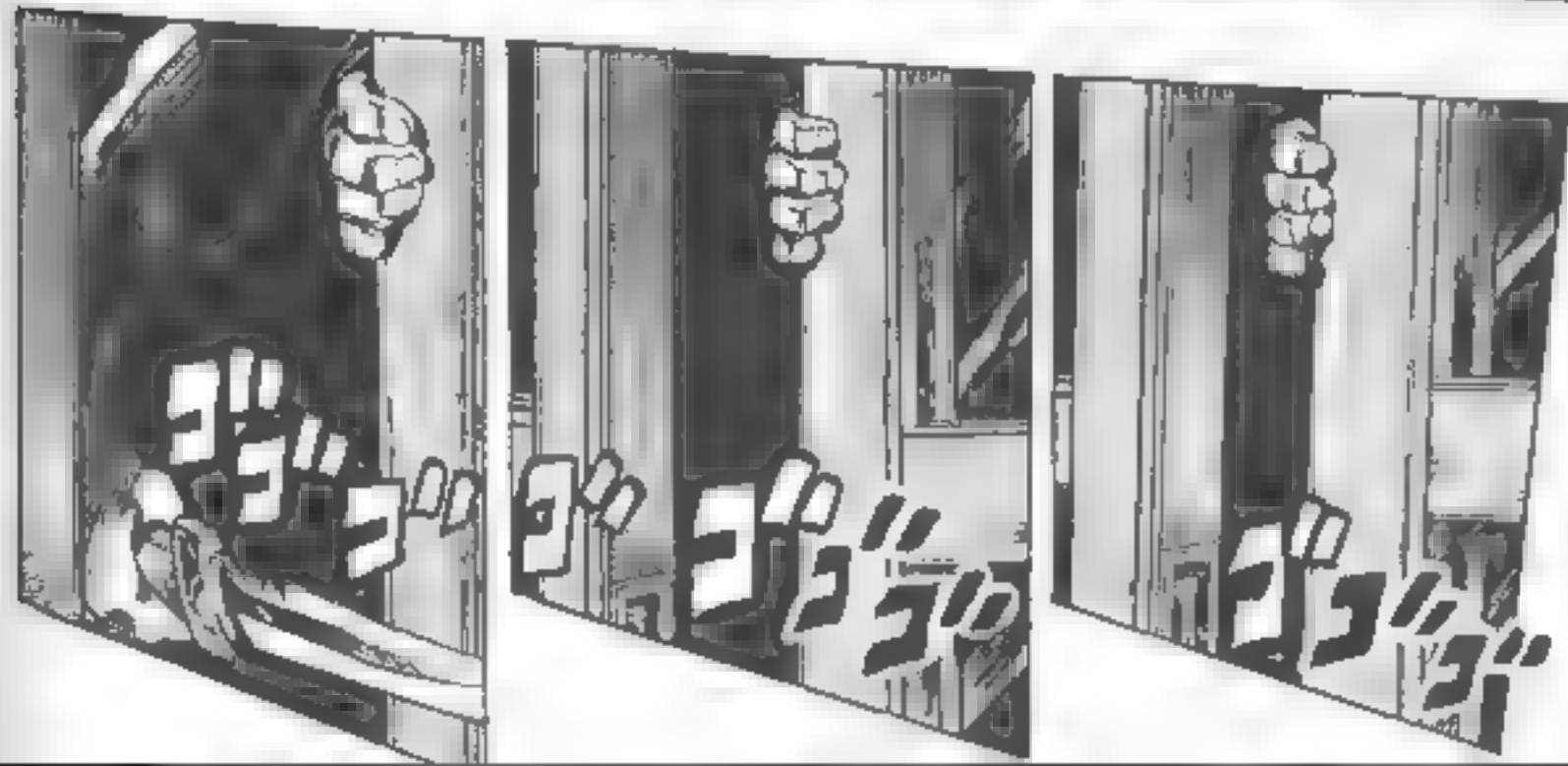
この
「人の悲しみを知りすぎる
やさしさ」が 自分の人生を
「不幸」にしなければいいのだが
…とそう思った

そして『運命の車輪』は確実に回転していく

そう思いつつも
彼は親切のため
追いかけて
届けてやる事に
した

だが この時 彼は
客を「マヌケだな」と
思うよりも
「不審な客だな」と
思うべきだった

釣り客は！
魚を釣りに
来たのでは
ない！

50000 LIRE
50000 LIRE
コレダカラオマエラノようなチンピラ相手ノ取リ引キハ……
イヤニナルンダ!!
オイ見られたぞ
なんであいつがてめーの竿をもってやがるんだこのマヌケがァ――
「麻薬」……!!

父さあああ――ん！
父さんッ！
父さあああ――ん！
『幸運』
命が助かるのが「幸運」であるという前提であるならばブチャラティの父親は幸運であった
7発の弾丸が全身をつらぬいていたが小島の近くをたまたま沿岸警備の船が通りかかり父親の船と父親を発見し救助していた
船には応急手当ての装備があり意識不明ではあるがネアポリスの病院まで命がもったのだ
警察は事件の原因と犯人を捜査はしていたがとにかく父親の意識の回復を待っていた
しかしながら「幸運」……
ブチャラティの人生にとってはむしろ…

父親は
即死してくれていた方が
今思い返してみると
「幸運」だったのかもしれない
『運命とは　自分で
切り開くものである』
と　ある人はいう…
ゴゴゴ
ガチャ
ゴゴゴゴ
しかしながら！
自分の意志で正しい道を
選択する余地などない
『ぬきさしならない状況』
というのも
人生の過程では存在
するッ！

ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ

ドド
漁師は…
体力がありやがるからなあああああ
このクタバリそこないがああああちくしょうお
早くやれ！
ドドドド
見張ってるからさっきとやれェ〜〜〜ッ
ドドドド
こんな夜中に来させやがって面倒くせーのによオオオオオ
ドドドド
しぶとく生きてんじゃあねーよこの野郎ーッ！

あの世に行きやがれェ――ェ
エエエエ

だ…!?
だれだ?てめーは……!!
あ…あぶねえ……
子…子供か!?
ベッドの下でなにやってんだ!?
た…たかが小僧じゃあねーか!
おい!力づくでブン取れッ!
そのナイフあ…あぶねえぞ!!
お…おろせ

あぎい
イイイアアアアア
うああっ
なっ　なっ
なにイイイイ
イイイ

ぼくが守るよ…
父さん
心配しないで…
心配しなくていい…
安心してゆっくりと……

ブローノ・ブチャラティは12さいにして殺人を犯し

もう後もどりはできない…このままではこのゴロツキどもの仲間の「報復」と「口封じ」は必ず続く

誰がこの親子を守ってくれるのだろう？「警察」が保証してくれるのか？

この件を治めてくれるのは「街」を裏で支配するといわれる「組織」だけだ

こうして
ブローノ・ブチャラティは
「組織」への忠誠と奉仕を
ひきかえに
安全を保証されたのだ

そして数年して
「幹部のポルポ」に
ブチャラティは
気に入られるのだが…

ブチャラティはこの時
「組織」をこの世の
正義と信じた…
……
だが皮肉な事に…

「組織」はこのころから
「禁じ手」としていた「麻薬」の
売買を国内に開拓して
いったのだ……!!

そして
ブチャラティの父親は
後遺症を残したまま
5年後に死亡……
父親と自分を巻き込んだ
「悪魔の白い粉」に
……

自分が信じた「組織のボス」が
自ら手をそめている事を知るッ!

そして
今ッ!

ボスは
今ッ!!

吐き気をもよおす『邪悪』とはッ！
なにも知らぬ無知なる者を利用する事だ……!!
自分の利益だけのために利用する事だ…
父親がなにも知らぬ『娘』を!!てめーだけの都合でッ！

ゆるさねえッ！
あんたは今 再びッ！
オレの心を
『裏切った』ッ！

いた…!!
ドドドドドドド
どうやったのかは知らんが
やはり塔の下へ…!!
トリッシュは
まだ生きている
あんたの正体だけを
知るつもりだったが…
予定がかわったッ!
あんたを始末する!
今ッ!
ドドドド
ドドドドド

■ジャンプ・コミックス

ジョジョの奇妙な冒険

55 ヴェネツィア上陸作戦の巻

1997年11月9日　第1刷発行

著者　荒木飛呂彦

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-50　電話　東京　03(5211)2651

発行人　山下秀樹

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-50
03(3230)6233(編集)
電話　東京　03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan

印刷所　株式会社　美松堂
中央精版印刷株式会社

ISBN4-08-872175-6 C9979